



ひきこもり等子ども・若者相談支援センター  
枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議  
平成27年度の記録



枚方市子ども青少年部子ども総合相談センター

となとな



# 目 次

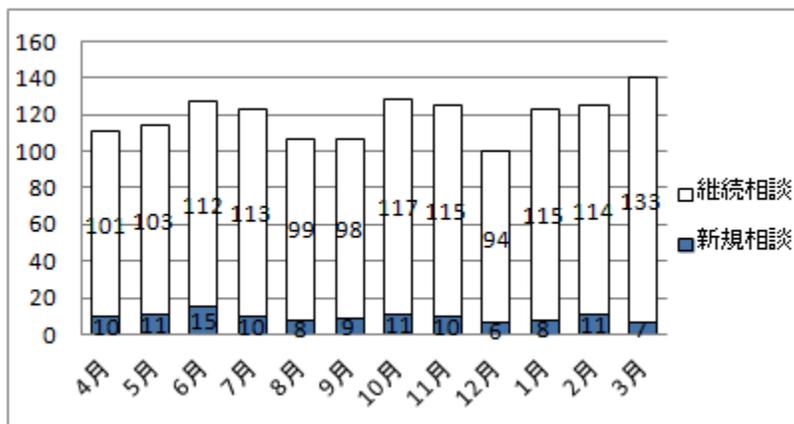
<b>【1】</b>	ひきこもり等子ども・若者相談支援センター	
1.	平成26年度月別延べ相談件数	1 p
2.	場所	1 p
3.	相談員	2 p
4.	相談方法	2 p
5.	相談対象者	2 p
6.	相談内容	3 p
7.	支援内容	4 p
8.	職員の研修体制	7 p
9.	視察の受入	9 p
10.	実習生の受入	9 p
<b>【2】</b>	市民啓発等	
1.	子ども・若者支援のための市民連続講座	10 p
2.	サポートフレンド養成講座	12 p
3.	その他	13 p
<b>【3】</b>	枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議	
1.	平成27年の活動状況	15 p
2.	平成27年度ネットワーク会議参加（案内）機関	17 p
3.	全体会議の会議録	18 p
[資料1]	「ひらぼう」第3報～第8報	
[資料2]	「子ども・若者支援のための市民連続講座」チラシ	
[資料3]	「サポートフレンド養成講座」チラシ	
[資料4]	「枚方市青少年サポートマップ」第4版	
[資料5]	「枚方市青少年サポートブック」表紙	
[資料6]	「自治大阪 頑張ってます！まちづくり 枚方市」	
[資料7]	「子ども・若者支援地域協議会設置促進事業 報告書」一部	
[資料8]	「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱」	

# 【1】 ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

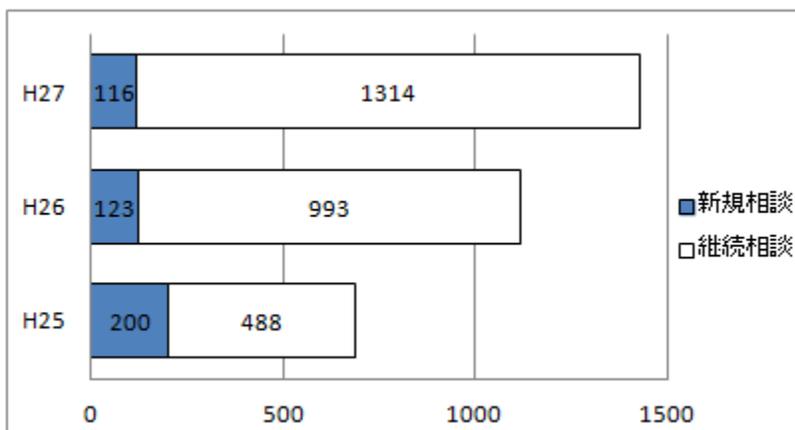
[資料 1]

## 1. 平成 27 年度月別延べ相談件数

新規相談が 116 件、継続相談が 1,314 件、合計延べ相談件数は 1,430 件でした。



継続相談の積み重ねが延べ相談件数の増加につながっています。



## 2. 場所

- 枚方市役所子ども青少年課内

安心して相談していただけるよう、専用の相談室も引き続き設置しています。



### 3. 相談員

- 臨床心理士等の専門相談員が対応

社会福祉士1名、臨床心理士3名の4名体制で対応しています。

相談員のスキルアップのため、2か月に1回ひきこもり等の支援について外部講師より助言をもらうスーパービジョンを実施し、各種研修へも参加しました。また、相談員同士の情報共有の場を毎週1回、枚方若者サポートステーションとの共有会を月1回行いました。

### 4. 相談方法

- 電話相談と面接相談（専用電話を設置）

面接相談	1289
電話相談	141
計	1430

平成27年度は、面接相談が延べ1,289件、電話相談が延べ141件でした。直接お会いし時間をかけて相談をお受けすることが多いですが、相談者に応じて使いわけています。

### 5. 相談対象者

<年齢>

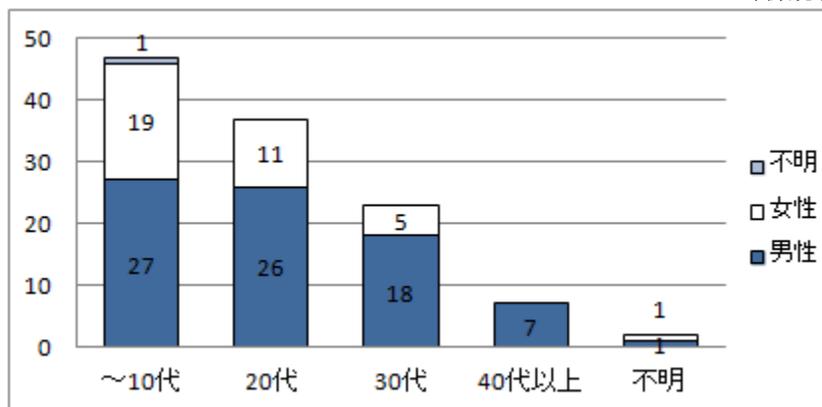
- 相談対象は、おおむね15歳（中学卒業後）から39歳まで（40代以上の方のご相談もお受けしています。）

平成27年度は、10代が一番多く、20代、30代と続きます。15歳から対象ということ考えると、10代の多さは特徴的です。また、一定数40代以上の方の相談もあるという現状がみられました。約7割が男性対象者についての相談でした。

年代×性別

	～10代	20代	30代	40代以上	不明	計	
男性	27	26	18	7	1	79	68.1%
女性	19	11	5	0	1	36	31.0%
不明	1	0	0	0	0	1	0.9%
計	47	37	23	7	2	116	
	40.5%	31.9%	19.8%	6.0%	1.8%		

（新規相談116件より）



<相談者>

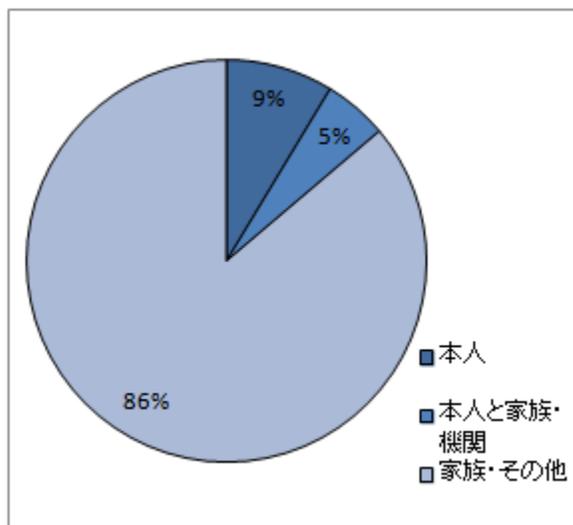
○ 相談は、ご本人とご家族、関係者の方が対象

—初回相談者—

本人	10	8.6%
本人と家族・機関	6	5.2%
家族・その他	100	86.2%
計	116	

初回相談は、86.2%がご家族からです。

まずはご家族との定期的な継続相談を続け、徐々にご本人とつながっていくことを目指していきます。



—経路—

関係機関	37	46.3%
ホームページ	16	20.0%
広報(ひらかた便利帳含む)	10	12.5%
知人	3	3.8%
その他	14	17.4%

(新規相談の内、聴き取りを行った分)

やきょうだい相談していることや、講演会、庁舎内の掲示案内板で知ったというものがありません。

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が46.3%（市民相談課、地域若者サポートステーション、保健所、家庭児童相談所など）、ホームページや広報が次いで多くなっています。

「その他」の中には、既にご家族

<居住地>

市内	96	82.8%
市外	10	8.6%
不明	10	8.6%
計	116	

対象は市内在住の方ですが、市外の方からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行うまでの対応をしています。

## 6. 相談内容

○ 相談内容は、ひきこもり、ニート、不登校に関するものが対象

平成27年度の相談内容は、ひきこもりと準ひきこもり相談が合わせて41.3%、続いて不登校相談が21.0%、就労相談が12.6%でした。

ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計
19	40	30	4	18	32	143
13.3%	28.0%	21.0%	2.8%	12.6%	22.3%	

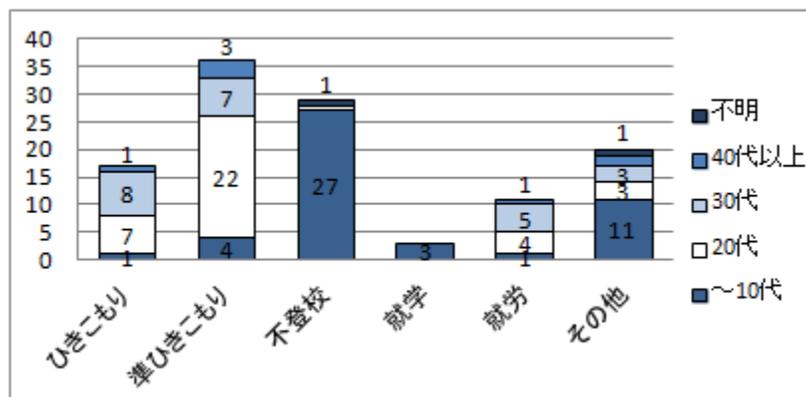
(相談内容の複数選択あり)

ひきこもりと準ひきこもり相談、就労相談は、20代と30代が中心ですが、それぞれ各年代からの相談がありました。

#### 年代×内容①

	ひきこもり	準ひきこもり	不登校	就学	就労	その他	計	
～10代	1	4	27	3	1	11	47	40.5%
20代	7	22	1	0	4	3	37	31.9%
30代	8	7	0	0	5	3	23	19.8%
40代以上	1	3	0	0	1	2	7	6.0%
不明	0	0	1	0	0	1	2	1.8%
計	17	36	29	3	11	20	116	
	14.7%	31.0%	25.0%	2.6%	9.5%	17.2%		

(新規相談 116 件より)



※年代と相談内容別の件数は、主な相談内容をひとつにして集計しています。

## 7. 支援内容

○ 1回の電話及び面接相談で、助言や適切な窓口につないで終了したケース

新規相談 116 件中、55 件でした。終了の例としては、適切な支援機関の情報提供や資源の整理、家族の関わり方についての助言を行ったものなどです。

(情報提供支援機関) 地域若者サポートステーション、枚方市保健所、家庭児童相談所、枚方公園青少年センター及び大阪府子ども家庭センターの青少年相談、大阪府発達障害者支援センター、通信制・定時制高校等の情報、他市相談窓口など(多かったものを抜粋)。

- 複数回の相談を重ねて助言や他機関へのつなぎをしたもの、または継続相談となっているケース

新規相談 116 件中、61 件でした。

平成 27 年度末で継続相談中のケースは 82 件です。その内、ご本人と継続相談中が 47 件、ご家族と継続相談中が 72 件です。ご家族とご本人両方の相談をお聴きしているケースも 37 件あります。

	H25	H26	H27
各年度、3.31 時点で継続相談中	50	72	82
本人と継続相談中	17	36	47
家族と継続相談中	38	56	72
(内) 本人と家族と並行で継続相談中	5	20	37

(H25 年度からの継続相談も含)

- 訪問支援

	H25	H26	H27
家庭訪問	22	40	53
同行訪問	11	18	25
計	33	58	78

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。

ご自宅へ伺って、ご本人のお話をお聴きする家庭訪問は、53 件、ご本人やご家族と一緒に各窓口へ同行する、同行訪問は、25 件ありました。

(同行訪問先) 居場所支援「ひらぼ」、地域若者サポートステーション、ハローワーク、市役所各窓口、福祉関係事業所、散策など

- 居場所支援「ひらぼ」

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとするためのスモールステップとしての居場所支援「ひらぼ」を、枚方公園青少年センターを中心に実施しています。相談支援センターの相談者を対象に、相談員との 1 対 1 の関係からステップアップし、5、6 人の集団での活動を通して社会とのつながりを築いていくことを目指します。実際の活動においては、専門のコーディネーターを設置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド(登録者 15 名)の協力を得て、料理やゲーム、スポーツや外出イベントなどの活動を行いました。また、NPO フェスタへの参加や、女性中心の会、月 1 同好会(男性中心)、地域の新聞販売店のご協力を得てポスティング体験など、選択肢の幅を広げ、様々な挑戦ができるよう工夫しています。

居場所支援と並行して、個別の面接相談も継続し、一人ひとりに合った支援を行って

ます。

平成 27 年度は、毎週水曜日と、月に 1 回最終金曜日、7 月からは他の曜日に月 2、3 回開催日を拡充し、開催が 73 回、参加延べ人数は 242 人でした（実人数 17 人／平成 26 年度は 7 人）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所回数	5	4	5	8	7	6	7	7	6	5	6	7	73
参加延べ人数	14	9	10	24	20	18	20	20	30	21	17	39	242

平成 28 年 2、3 月には、2 回目のサポートフレンド養成講座を実施しました。

また、居場所支援に携わるサポートフレンド対象の研修を月 1 回、その他、子ども・若者にかかわる研修をサポートフレンド研修と位置づけフォローアップを行っています。

居場所支援「ひらぼ」を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報するため、通信「ひらぼう」を発行しました。

#### ○家族の会

実施回数	12	月に 1 回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。
参加延べ人数	37	

平成 27 年度は実施が 12 回、参加延べ人数は 37 人でした。

自由に思いを語り合う時間を中心に、将来のための制度について等、職員から話題提供を行う時間も合わせて設けました。

4月	これからのこと、将来のこと、お金のこと。
5月	声のかけ方と話題。うまくできたこと、できなかったこと。
6月	はたらくこと。色々な仕事のかたち①
7月	はたらくこと。色々な仕事のかたち②
8月	子どもと一緒にできること
9月	フリートーク・近況報告
10月	合宿型の若者自立支援施設について
11月	DVD視聴 “NHKプロフェッショナル 仕事の流儀 谷口仁史さん”・意見交換
12月	DVD視聴 “ひきこもりをテーマにした映画 青少年自立援助センター・工藤定次さん”・意見交換
1月	フリートーク・近況報告
2月	市民連続講座『ひきこもっている子どもの未来ーお金の面から考えるー』の報告
3月	来年度に向けての意見交換

## 8. 職員の研修体制

### ○スーパービジョン

平成 25 年 9 月より、一般社団法人 office ドーナツトーク代表の田中俊英さんをスーパーバイザーに迎え、ケース検討を基本にしたスーパービジョンと相談体制や居場所のあり方などを助言・指導いただくコンサルテーションを実施してもらっています。

平成 27 年度は、2 か月に 1 度、2 時間ずつ実施。計 6 回おこないました。

### ○研修等への参加

#### ① アウトリーチ（訪問支援）研修

主催：内閣府

日時：(1)平成 27 年 8 月 31 日(月)～9 月 4 日(金)  
(2)平成 27 年 9 月 28 日(月)～10 月 2 日(金)  
(3)平成 28 年 2 月 1 日(月)～2 月 3 日(水)

場所：(1)国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）  
(2)特定非営利活動法人北陸青少年自立援助センター（富山県富山市）  
(3)国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

参加人数：1 人

#### ② 子ども・若者支援地域協議会設置促進事業 第 1 回合同研修会

主催：内閣府

日時：平成 27 年 7 月 13 日(月)～15 日(水)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

参加人数：2 人

#### ③ 子ども・若者支援地域協議会設置促進事業 第 2 回合同研修会

主催：内閣府

日時：平成 28 年 1 月 27 日(水)～29 日(金)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

参加人数：2 人

#### ④ 青少年相談機関に関するブロック連絡会議（近畿ブロック）

主催：内閣府

日時：平成 28 年 1 月 20 日(水)

場所：大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

参加人数：1 人

#### ⑤ 平成 27 年度 大阪府ひきこもりサポーター養成研修事業

内容：訪問支援機関から見たひきこもり支援

主催：大阪府

日時：平成 28 年 1 月 22 日

場所：大阪府男女共同参画・青少年センター ドーンセンター（大阪府中央区）

#### ⑥ “シンポジウム” これからの豊中市若者施策に必要な視点

司会：樋口明彦（法政大学社会学部教授）

シンポジスト：金城隆一（NPO 法人沖縄青少年自立センターちゅらい代表理事）

松田孝（さっぽろ青少年女性活動協議会 札幌市若者総合センター館長）  
小林将元（NPO 法人フェルマータ理事）  
石田貴裕（NPO 法人淡路プラッツ統括マネージャー）  
白砂明子（一般社団法人キャリアブリッジ理事・統括責任者）  
大阪府 政策企画部 青少年・地域安全室 青少年課

主催：大阪府・豊中市・一般社団法人キャリアブリッジ

日時：平成 27 年 11 月 6 日（金）

場所：豊中市立青年の家いぶき

参加人数：1 人

⑦ 【こころのケア】シンポジウム

内容：脳科学から見た児童虐待

主催：兵庫県こころのケアセンター

日時：平成 27 年 11 月 19 日

場所：兵庫県こころのケアセンター（神戸市中央区）

参加人数：1 人

⑧ 臨床心理士研修

子どもの非行への理解と関わり方～子どもの傷つきや虐待・発達障害の視点から～

講師：橋本和明（花園大学社会福祉学部臨床心理学科教授）

主催：枚方市子ども青少年部家庭児童相談所

日時：平成 27 年 8 月 26 日（水）

場所：枚方市職員会館

参加人数：3 人

⑨ 第 1 回 枚方市子どもをはぐくむネットワーク

内容：自己紹介・各機関の役割と現状の報告、大阪府サポートセンターからの報告

主催：枚方市家庭児童相談所

日時：平成 27 年 7 月 17 日（金）

場所：教育文化センター

参加人数：4 人

⑩ 第 2 回 枚方市子どもをはぐくむネットワーク

内容：障害福祉室より報告、生活福祉室より報告

主催：枚方市家庭児童相談所

日時：平成 27 年 12 月 17 日（金）

場所：教育文化センター

参加人数：4 人

○新入相談員への研修

① 子ども・若者相談支援について

内容：フェルマータ見学・北大阪若者サポートステーションについて

日時：平成 27 年 4 月 28 日

場所：NPO 法人フェルマータ（大阪府高槻市）

② 子ども・若者相談支援について

内容：SST プログラムについて

日時：平成 27 年 6 月 25 日

場所：NPO 法人フェルマータ（大阪府高槻市）

③ 子ども・若者相談支援について

内容：枚方若者サポートステーションについて

日時：平成 27 年 6 月 9 日

場所：枚方若者サポートステーション（枚方市）

## 9. 視察の受入

① 岐阜県立看護大学他（5 人）

日時：平成 27 年 10 月 6 日（火）～7 日（水）

② 愛知県岩倉市議会

日時：平成 27 年 10 月 15 日（木）

## 10. 実習生の受入

大阪経済大学と協定書を交わし、同大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻の大学院生を受け入れることとなりました。

平成 27 年度は、前期に 1 人受け入れ、主に居場所支援「ひらぼ」での支援に従事してもらいました。

## 【2】市民啓発等

[資料2]

### 1. 子ども・若者支援のための市民連続講座

—ひとりひとりが自分らしく—

ひきこもり等の問題とひきこもり等子ども・若者相談支援センターについて、市民により広く、深く知っていただくために連続講座を企画しました。

平成27年度は、内閣府の実施する「子ども・若者支援地域協議会設置促進事業」（協議会未設置地域対象）に参加しており、同事業の課題把握・啓発のための「地域住民を対象とした公開講座」として実施しました。

5回実施し、延べ215名の参加をいただきました。関係機関や相談を行っている当事者（親）の参加も多く、ひきこもり等の若者の現状と支援について理解を深める機会となりました。

#### 第1回

日時：平成27年9月12日（土） 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ： 困難を有する若者の現状—見えない未来—

講師：古賀 正義さん（中央大学文学部教授）

参加者：32人



#### 第2回

日時：平成27年10月4日（日） 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ： 日本社会の変容と若者の現状

講師：本田 由紀さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

参加者：42人



#### 第3回

日時：平成27年11月7日（土） 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ： ひきこもり支援の現場から

講師：工藤 定次さん（特定非営利活動法人青少年自立援助センター理事長）

参加者：51人



第4回

日時：平成27年11月28日(土) 15:00～17:00

場所：メセナひらかた会館 視聴覚室

テーマ：医療機関から見たひきこもりと回復へのアプローチ

ー本人と家族が一步先に進むためにー

講師：岡崎 剛さん（三家クリニック臨床心理士・  
メンタルワークス大阪代表）

参加者：53人



第5回

日時：平成28年1月9日(土) 14:00～16:00

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）研修室1

テーマ：ひきこもっている子どもの未来ーお金の面から考えるー

講師：浜田 裕也さん（ファイナンシャルプランナー）

参加者：37人



## 2. サポートフレンド養成講座

[資料3]

居場所支援「ひらぼ」にて若者のみなさんとともに過ごし、自立に向けた活動をサポートしてくださるボランティアスタッフであるサポートフレンドの養成講座を実施しました。

3回の講座を実施し、35人より申し込みをいただきました。最終的に23人がサポートフレンドとして登録されました。

### 第1回

日時：平成28年2月19日（金）14:00～16:00

場所：ラポールひらかた 研修室2

テーマ：ひきこもり等の子ども・若者支援 ～若者理解と支援の実際～

講師：田中 俊英さん（一般社団法人officeドーナツトーク代表）

参加者：27人

### 第2回

日時：平成28年3月2日（水）14:00～16:00

場所：枚方公園青少年センター 和室

テーマ：居場所支援の役割 ～「ひらぼ」の現場より～

講師：小田 純也さん（居場所支援「ひらぼ」コーディネーター）

南波 英和さん（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター相談員）

参加者：29人

### 第3回

日時：平成28年3月10日（木）14:00～16:00

場所：ラポールひらかた 研修室2

テーマ：これからの子ども・若者支援 ～講座をふりかえって～

講師：宮原 輝彦さん（枚方公園青少年センター青少年相談・相談員）

参加者：27人

### 3. その他

#### 〈1〉 青少年サポートマップ

[資料4]

平成23年度から作成（当初は枚方公園青少年センターで）している、枚方市内の青少年の相談機関等をA3裏表で紹介する青少年サポートマップ第4版を作成しました。各掲載機関の情報を最新のものに更新し、27の相談窓口や家族会・当事者会を掲載しました。6,000部印刷して相談の現場で活用する他、関係機関や市の窓口職場に配布しました。

#### 〈2〉 青少年サポートブック

[資料5]

平成27年度は、枚方市内の青少年の相談窓口について、より詳細にまとめた冊子を作成しました。青少年支援に関わる窓口や、社会資源に関する窓口など、サポートマップに未掲載の機関についても、新たに紹介しました。500冊印刷し、相談の現場で活用する他、関係機関に配布しました。

市民連続講座と同じく内閣府の実施する「子ども・若者支援地域協議会設置促進事業」（協議会未設置地域対象）として実施しました。同事業の課題把握・啓発のための「社会資源の把握と支援機関マップの作成」として作成しました。

#### 〈3〉 職員による出前講座

生涯学習課で実施している「職員による出前講座」に「若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に」「青年期の心模様」の2つをメニューとして上げています。平成27年は、3回申込があり、それぞれ実施しました。

① 団体名：枚方ソーシャルワーク研究会

日時：平成27年10月23日(金)19:00～20:45

場所：枚方市民会館 参加者：50人

テーマ：若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に－

② 団体名：枚方市民生委員児童委員協議会 菅原地区委員会

日時：平成27年11月26日(木)11:00～12:00

場所：菅原生涯学習市民センター 参加者：65人

テーマ：若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に－

③ 団体名：平野校区青少年を守る会

日時：平成28年2月18日(木)19:30～20:30

場所：平野小学校 参加者：60人

テーマ：若者の置かれている現状－ひきこもり・ニートを中心に－

#### 〈4〉 青少年育成指導員研修

枚方市で各校区からの推薦を受け市長から委嘱され、青少年の健全育成のために活動されている。青少年育成指導員の北部ブロックの研修会に講師として出席しました。

日時：平成28年3月13日(日)10:00～12:00

場所：メセナひらかた会館 参加者：40人

テーマ：若者の置かれている現状 -ひきこもり・ニートを中心に-

#### 〈5〉 「枚方市こころの電話相談」 平成27年度電話相談ボランティア養成研修

こころの電話相談で相談員としてボランティアを希望される方々に対し、要請研修の一環として枚方市におけるひきこもり等支援についての研修をおこないました。

日時：平成27年7月18日(日)13:30～15:30

場所：枚方市総合福祉会館（ラポールひらかた）

テーマ：若者の置かれている現状 -ひきこもり・ニートを中心に-

#### 〈6〉 自治大阪 頑張ってます！まちづくり [資料6]

大阪府市町村課が、市町村の発展向上及び職員の資質向上に役に立つ情報を掲載しているインターネット上の冊子「自治大阪」平成27年7月号の「頑張ってます！まちづくり」のコーナーに「枚方市におけるひきこもり等の支援の取り組み」の記事を掲載しました。

[http://pref.osaka.lg.jp/shichoson/jichi/ganmachi\\_hirakata.html](http://pref.osaka.lg.jp/shichoson/jichi/ganmachi_hirakata.html)

## 【3】枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議

[資料7・8]

### 1. 平成27年度の活動状況

ひきこもりやニート、不登校などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年6月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議（以下、ネットワーク会議という）を開催しています。

平成27年度は、偶数月に全体会議を奇数月に世話人会議を開催しています。世話人会議で次回の全体会議のテーマを決めたりネットワーク会議の方向性を検討したりしています。全体会議のテーマは、年間で医療、教育、労働（雇用）等から満遍なく取り上げるよう工夫しています。また、昨年度に引き続き2月に家族会との意見交換会を実施しました。12月には、京都府のネットワーク「チーム絆」と意見交換をおこないました。

また、ケースカンファレンスを年3回実施しました。問題解決を図るための会議ではなく、学習会的な目的のカンファレンスとしました。

#### ○子ども・若者支援地域協議会設置促進事業

平成27年度は、内閣府が主催する子ども・若者支援地域協議会設置促進事業に参加しました。3年をかけて子ども・若者育成支援推進法に定める地域協議会の設置を目指す事業で、枚方市としては参加1年目であり、課題把握・啓発段階地域対象自治体として、「子ども・若者の支援体制の整備」と「合同研修会への参加」のほか、「地域住民を対象とした公開講座(5回)」「社会資源の把握と支援機関マップの作成」「複数部局にまたがる「連絡会議」の開催(3回)」を実施することとなっていました。

「地域住民を対象とした公開講座」は、毎年おこなっている「子ども・若者支援のための市民連続講座」として実施。「社会資源の把握と支援機関マップの作成」については、今回新たに「青少年サポートブック」を作成。「複数部局にまたがる「連絡会議」の開催」については、ネットワーク会議の第3回～5回の3回分を充てました。

7月と1月に実施された合同研修会には、2人ずつ参加し、地域協議会設置を目指す自治体の担当職員と交流をおこないました。

2月に実施した第6回全体会議では、内閣府の担当職員が参加し、意見交換をおこないました。

実施日	会議名	内 容
4月16日	第1回全体会議	①各機関の活動紹介 ②今年度の予定
5月15日	第1回ケースカンファレンス	事例提出:枚方市保健所、枚方若者サポートステーション
5月21日	第1回世話人会議	次回全体会の内容検討
6月18日	第2回全体会議	①大阪府立精神医療センターの見学と説明 ②NPO 法人陽だまりの会のあゆみ
7月16日	第2回世話人会議	次回全体会の内容検討
8月20日	第3回全体会議 内閣府 子ども・若者支援 地域協議会設置促進事業	高校内における居場所支援について ・NPO 法人志塾フリースクール(寝屋川高校定時制の課程) ・NPO 法人み・らいず (大手前高校定時制の課程) ・大阪府 青少年課
9月24日	第3回世話人会議	次回全体会の内容検討
9月24日	第2回ケースカンファレンス	事例提出:枚方市人権まちづくり協会、子ども青少年課
10月15日	第4回全体会議 内閣府 子ども・若者支援 地域協議会設置促進事業	①ハローワーク枚方の見学と現在の雇用状況 ②ホースフレンズ事務局(枚方若者サポートステーション)より昨年度の「中間的就労の場づくり支援事業」の総括
11月19日	第4回世話人会議	次回全体会の内容検討
12月11日	第5回全体会議 内閣府 子ども・若者支援 地域協議会設置促進事業	京都府ひきこもり訪問支援「チーム絆」との意見交換 (京都府 家庭支援総合センターにて)
1月21日	第5回世話人会議	次回全体会の内容検討
1月25日	第3回ケースカンファレンス	事例提出:児童生徒支援室、大阪府立大手前高校(定時制の過程)
2月18日	第6回全体会議	①内閣府との意見交換 ②家族会との意見交換
3月16日	第6回世話人会議	次回全体会の内容検討、来年度の計画、

## 2.平成27年度 ネットワーク会議参加（案内）機関

枚方公共職業安定所（ハローワーク枚方）  
大阪府中央子ども家庭センター  
大阪府精神医療センター  
枚方市民生委員児童委員協議会  
枚方市社会福祉協議会  
NPO法人枚方市人権まちづくり協会  
枚方市地域就労支援センター  
枚方市いきいきネット相談支援センター（社会福祉協議会・人権まちづくり協会）  
枚方若者サポートステーション（NPO法人ホースフレンズ事務局）  
北大阪若者サポートステーション（NPO法人フェルマータ）  
大阪府若者サポートステーション（NPO法人スマイルスタイル）  
東大阪若者サポートステーション（社会福祉法人つむぎ福祉会）  
OSAKAしごとフィールド  
枚方市障害者自立支援協議会幹事会（NPO法人パーソナルサポートひらかた・社会福祉協議会）  
枚方市障害者就業・生活支援センター（社会福祉法人であい共生舎）  
特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター  
長尾谷高等学校  
ECC学園高等学校  
大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）  
大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）  
近畿情報高等専修学校  
枚方市教育委員会 教育相談課  
枚方市 地域振興部 産業振興課  
枚方市 福祉部 障害福祉室  
枚方市 福祉部 生活福祉室  
枚方市 健後部 枚方市保健所 保健予防課  
枚方市 健康部 保健センター  
枚方市 子ども青少年部 家庭児童相談所  
枚方公園青少年センター  
枚方市 子ども青少年部 子ども青少年課（事務局）

以上30機関

### 3. 全体会議の会議録

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 1 回 全体会＞	
開催日時	平成 27 年 4 月 16 日（木）	14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 特別会議室	
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 枚方保健所：1 人 大阪府立精神医療センター：1 人 児童生徒支援室：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 障害福祉室：1 人 枚方市いきいきネット相談支援センター：2 人 生活福祉室：2 人 枚方若者サポートステーション：2 人 寝屋川高校：1 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 長尾谷高校：1 人 ひらかた市民活動支援センター：2 人 家庭児童相談所：1 人 ひらかたハートセラピー協会：1 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 枚方市社会福祉協議会：1 人 保健センター：1 人 子ども青少年課：4 人 <p style="text-align: right;">参加者計 25 人</p>	
	< 案件 1 各機関からの自己紹介 > (枚方保健所)ひきこもりの家族の会に毎月 10 名程度参加がある。親の高齢化が問題になってきている。 (枚方公共職業安定所)平成 27 年 3 月 30 日より生活困窮者の常設窓口設置。枚方市の紹介を通して利用していただく。 (枚方市障害者就業・生活支援センター)定着支援に力を入れている。利用に関して年齢制限はない。利用の際、手帳なしでも、相談は受けられる。しかし、雇用率のカウントの兼ね合いで雇用に繋がるのが難しい場合もある。 (枚方市いきいきネット相談支援センターCSW)について説明していただく。校区の福祉支援活動として、高齢者サロン、子育てサロン等での出張相談も行っている。 (生活福祉室)平成 27 年 4 月より生活困窮者自立支援法施行に伴い、相談窓口を開設。相談	

員 4 名。広報を見て来室される方が多い。学習支援については今年度中に実施予定。

(枚方若者サポートステーション)ひきこもり支援については、今年度より大阪府からの委託ではなくなった。独自に運営しており、一部利用料が必要な活動もある。

(精神医療センター)依存症の拠点病院となった。主に薬物依存について取り組んでおり、ギャンブル依存の治療について進めている。児童福祉法、精神保健福祉法に基づく入所施設「たんぼぼ」と児童・思春期病棟がある。児童・思春期外来については予約が混み合っている状況。

(寝屋川高校)教師 1 名、学習支援員 1 名の体制で教室外登校を実施。学習支援員が不足している。

(子ども青少年課)子ども青少年課の新年度の職員体制について報告。ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの平成 24 年度、平成 25 年度の活動記録報告書に基づき報告を行った。

※その他機関は資料参照。

#### < 案件 2 ネットワーク会議の今年度の活動予定 >

(子ども青少年課)ケースカンファを 5 月、9 月、1 月に予定している。初回は 5 月 15 日に実施予定。枚方若者サポートステーションと枚方保健所に事例提供していただく。市民啓発事業として連続講座、ならびにサポートフレンドの養成講座を実施予定。前年度の反省をふまえて、時期を早め、講座間隔をあける。また、講座の夜間や土日の実施を検討。さらに平成 26 年度活動報告書の作成。

(ひらかた市民活動支援センター)現在、相談窓口が色々ある。全体的、系統的な支援が必要ではないか。断ち切れになったり、忘れられたりするようなケースにどのように関わっていくか。それらのケースにどのように対応するか。個人情報保護に配慮しながら、困難なケースについて検討していく必要があると思われる。

(若者支援全国協同連絡会)「親から子へ希望のかけはしー生活マニュアルハンドブッカー」の紹介していただく。長崎県佐世保市の N P O 法人フリースペースふきのとうによって作成。行政、親、当事者の協同で作られている。枚方市でも作成してもらいたい。

(枚方若者サポートステーション)ネットワーク会議への参加を始めて、支援の方法が変わった。これまでは自身の機関だけで対応しようと考えることが多くあったが、ネットワーク会議の参加を通して、より専門家がいれば、そちらにお願いする、協力するということも増えて良かった。ひきこもりの分野だけでなく、市民全体にネットワークの考えが広がっていくと良いと思う。

(ひらかた市民活動支援センター)マップをより具体化したものがあれば、利用される方に

とって便利。対象別、問題別に分かれてみると分かるようなもの。利用者さんの見通しがつくようなものがあればよい。

<次回会議>

- ・平成27年6月18日（木）14時より開催予定。

以上

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 2 回 全体会＞
開催日時	平成 27 年 6 月 18 日（木） 14 時 00 分から 16 時 30 分まで
開催場所	大阪府立精神医療センター
出席者	枚方市いきいきネット相談支援センター：3 人 枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪府立精神医療センター：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 枚方若者サポートステーション：2 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 枚方市社会福祉協議会：1 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 ひらかたハートセラピー協会：1 人 寝屋川高校：1 人 NPO 法人陽だまりの会：1 人 児童生徒支援室：1 人 保健センター：1 人 生活福祉室：5 人 家庭児童相談所：1 人 子ども青少年課：4 人 参加者計 28 人
<p>＜案件 1 大阪府立精神医療センターの見学と説明＞</p> <p>※二組に分かれて交互に見学と説明を実施。資料は別紙参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府立精神医療センターについて（NM精神保健福祉士） 緊急病院指定医療機関として 365 日 24 時間、入院の受け入れに対応している。処遇困難事例の受け入れなどもあり、民間病院等に比べると、非同意の入院の割合が多い。薬物依存の入院が出来る。児童思春期外来病棟、医療観察法病棟、訪問看護、デイケア、作業療法センターの設置。</li> <li>・児童思春期病棟ひまわり部門について（NM精神保健福祉士） 主に中学生から 18 歳未満が対象となり精神保健福祉法に基づく入院病棟。入院の目的や入院時のプログラム、退院時の支援等について説明していただく。</li> <li>・児童思春期病棟たんぼぼ部門について、児童思春期外来について（NY精神保健福祉士） たんぼぼ病棟では、児童福祉法に基づき、入所施設も兼ねている。また、児童思春期外来の初診時の受付の流れについて説明いただく。初診については、診断初診と一般初診に分かれており、発達障害の診断や相談に関する診断初診については、未就学児の受診が多い状況。幼稚園や保育所の入所前や小学校入学前の相談が多い。</li> <li>・ひまわり合宿について</li> </ul>	

不登校や引きこもりの中学生を対象とした“ひまわり合宿”を今年度より実施予定。児童思春期病棟ひまわり部門にて3か月入院し、同年代の仲間との関わりやプログラムを通して、自信を回復していくことを目的としている。本人が入院を希望している方が対象となる。

- ・児童思春期病棟見学

居室、詰所、浴室、食堂、学習室等見学させていただく。思春期部門については、常に満床に近い状況。2～3か月での退院を目標としている。児童部門に関しては、医療センター退所後の施設入所の受け入れ時期等によって、入所人数の変動がある。

< 案件2 NPO 法人陽だまりの会のあゆみ >

※資料は別紙参照

- ・NPO 法人陽だまりの会のあゆみ

精神障害者の置かれている状況について、陽だまりの会のあゆみとともに紹介していただく。陽だまりの会は、当事者自身がメインで動けるような場作りとして始まった。精神障害者は病気の再発を機に、これまでの生活を維持することが困難な場合が多々あり、退院後のフォローなど支援の連続性を保てるようにしていくことが課題である。

- ・陽だまりの会の20周年記念のDVDの視聴

陽だまりの会での当事者の活動の紹介や会に参加することへの感想など語られたDVDを視聴する。

以上

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 3 回 全体会＞
開催日時	平成 27 年 8 月 20 日（木） 14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	メセナひらかた会館 4 階特別会議室
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪府立精神医療センター：1 人 民生委員児童委員協議会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 枚方若者サポートステーション：2 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 ひらかたハートセラピー協会：1 人 寝屋川高校：1 人 児童生徒支援室：1 人 保健センター：1 人 生活福祉室：2 人 障害福祉室：1 人 保健所：2 人 家庭児童相談所：1 人 子ども青少年課：5 人 報告者 大阪府：1 人 志塾：3 人 み・らいず：1 人 参加者計 24 人
	<p>＜案件 1 出席者より自己紹介と近況報告＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども青少年課より、子ども・若者支援のための市民連続講座（資料①）と、「ひらぼう第 5 報」（資料②）の案内。</li> <li>H 氏より、「社会的」ひきこもり・若者支援近畿交流会の案内（資料③）。</li> <li>生活福祉室より、枚方市自立相談支援センターの紹介（資料④）。</li> </ul> <p>＜案件 2 高校における居場所支援について＞</p> <p>○大阪府政策企画部青少年・地域安全室青少年課より、大阪府の平成 27 年度高校内における居場所のプラットフォーム化事業について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細は、資料⑤。</li> </ul> <p>○NPO 法人志塾フリースターより、寝屋川高校定時制の課程における居場所支援について紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細は、資料⑥。</li> </ul> <p>○NPO 法人み・らいずより、大手前高校定時制の課程における居場所支援について紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細は、資料⑦。</li> </ul> <p>○質疑応答、意見交換。</p>

- ・ (H氏) 高校の中に入るといふことで難しさもあると思うが、府教育委員会との連携の状況はどうか。また、高校とサポステとの連携事業は1年で終了したが…
- ・ (大阪府) 学校によって抵抗感があるところもある。理解のある学校から実績を重ねていく方法でひろげている。府教育委員会とは情報共有しながら進めている。事業の成果をみていく検討委員会に、SSWのスーパーヴァイザーや府教育委員会にも入ってもらっている。  
事業の継続について。平成24年から国の予算をつかってやってきている。27年度は、地方創生の予算を使っている。これが5年と言われているので、それまでは継続すると思っている(方針が変わらなければ)。
- ・ (H氏) →寝屋川高校内の居場所での基礎学力支援と、学校のカリキュラムとの調整はどのようにしているのか。また、生活支援についてはどのような状況か。
- ・ (志塾) 学校の0限授業で使っているプリントがあり、これを生徒がするときにサポートしている。0限授業のプリントでサポートしきれない生徒(学力的に更に前段階の生徒)に対しては、志塾の教材を使うこともある。えんがわプロジェクトではまずは来所してくれる生徒が対象となるため、生活支援については、事前に先生と情報共有をすること、来所してくれた生徒の中で、様子を先生にお返しすることによる。
- ・ (H氏) →大手前高校の校内委員会による支援の具体を教えてください。また、校内委員会が機能しているということが重要になると思うのだが、校内委員会を組織することのポイントは？
- ・ (み・らいず) 校内委員会では、卒業年度の生徒については進路についてのプランニングや支援方針を共有。生活支援が必要なケースだと、先生が親にアプローチし、学校内居場所が子どもに支援をするなど、打ち合わせなどしている。府の事業といふことで学校には入りやすいのかもしれないが、大手前高校の場合はキーパーソンとなる先生がいてくれたこと、桃谷高校の場合は元々支援体制ができていたことがポイント。まだまだそのような体制がない学校もある。地道に職員室に入っていく関係作りをしている学校もある。
- ・ (子ども青少年課) 高校生の不登校の相談ケースについて、転校を考えたとき、まず高校内居場所につながってから入学を考えるという方法はとれるか。在校生にとっての中間的居場所だが、これから入る生徒の中間的居場所として使う可能性はあるか。
- ・ (志塾) 志塾としてもっている資源をつかって、その子のニーズに合わせて相談を受けることはできかと思う。
- ・ (み・らいず) この事業は、学校メインで、プラスαとしての居場所機能という関係性ではある。学校側の判断にもよるので相談してもらえれば。
- ・ (寝屋川高校) 年に数回学校説明会がある。その他でも個別に見学に来てもらってよい。
- ・ (寝屋川高校) 先生と生徒の声として。教員の対応できない時にじっくり時間をかけて生徒に関わってくれるのでありがたい。パソコン講座や理科実験が楽しみ。利用者同士の横のつながりができてきた。課題として、利用生徒の固定化、本当に必要な子どもにつながっていない場合もある。等々。
- ・ (志塾) 学習支援が強みと特徴であるので、勉強がしたいと思ってくる生徒への支援と、居場所として来る生徒への支援とのバランスが課題。先日、理科の実験として、コーヒを入れてお菓子を食べる会を行ったのだが、楽しく来てくれていた。
- ・ (み・らいず) 桃谷高校では3年目となった。支援が定着してきたことはいい面でもあ

る。大手前では、オープンな日とは別に、挑戦としてクローズの日を作ってみた。個別にねらいをもって、先生からつないでもらった生徒を対象にしたもの。

- ・（子ども青少年課）校内居場所支援において、親への関わりはあるか。
- ・（志塾）直接の関わりはない。親に対しては、来所した生徒について、先生と理解を共有することで間接的に関わるというもの。
- ・（み・らいず）直接はない。校内居場所では子がメイン。校内委員会で、親は先生が対応、子どもは校内居場所に対応するというプランを立てることがあるが、役割分担している。
- ・（枚方サポステ）校内居場所の終着点のイメージは？
- ・（志塾）先生個人で対応するのではなく、チームを作るということではないか。
- ・（大阪府）必要な支援につながるようなしくみ、制度化できるといい。
- ・（み・らいず）居場所は出逢いの場であり入り口。プラットフォームを学校の中に作るということが終着点か。
- ・（寝屋川高校）学校にできることには限りがある。SSWによるケースの見極めと、資源につなげる動きはとても助かる。
- ・（教育委員会）市教育委員会から高校への情報提供は、学校任せになっているのが現状。これだけの資源や情報があるので、保護者につないでいきたい。枚方市でSSWは小中ほぼ全校配置。

<次回開催予定>

- ・ 10月15日（木）14時～

以上

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 4 回 全体会＞
開催日時	平成 27 年 10 月 15 日（木） 14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	ハローワーク枚方・メセナひらかた会館 4 階特別会議室
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 大阪府中央子ども家庭センター：1 人 大阪府立精神医療センター：1 人 民生委員児童委員協議会：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 枚方若者サポートステーション：2 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 枚方市いきいきネット相談支援センター：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 ECC 学園高等学校：1 人 長尾谷高校：1 人 児童生徒支援室：1 人 保健センター：1 人 生活福祉室：1 人 障害福祉室：1 人 保健所：2 人 家庭児童相談所：1 人 子ども青少年課：4 人 参加者計 23 人
<p>＜案件 1 ハローワーク枚方の見学＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 班に分かれて、施設内を見学。各種相談窓口について説明を受ける。</li> <li>・ ハローワーク枚方は、マザーズコーナー・福祉人材コーナーを開設している点が特色。</li> </ul> <p>＜案件 2 出席者より自己紹介と近況報告＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども青少年課より「ひらぼう第 5 報」（資料①）の案内。</li> <li>・ 社会福祉協議会より「ほっこりひらかた 2015」についての案内（資料②）。</li> <li>・ 生活福祉室より、生活困窮者自立支援の本年度の経過について説明。</li> <li>・ 保健所より「こころの体温計」の紹介（資料③）。</li> </ul> <p>＜案件 3 ハローワーク枚方より現在の雇用・求人状況、若者支援について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハローワーク枚方より説明（資料④・⑤）。求人状況については、大阪府内では、平成 27 年度 8 月における有効求人倍率が 1.22 倍。1 倍を超える状況が続いている。枚方管内においては、0.58 倍。</li> <li>・ 新規求人については、例年 1 月に多い傾向。求人が継続され、3 月・4 月の求人数が多い。</li> <li>・ 職種別の有効求人倍率に関しては、事務職の希望が非常に多く、有効求人倍率が他の職種と比べて低い状況。介護職に関しては有効求人倍率が高く、人手不足の状況である。</li> </ul>	

- ・ 年齢別求職者数より、25歳から34歳の求職者数が多年齢と比しても多いことが特徴。また、多くの人が事務職を希望している。能力や経験などから、適正を考えた求職活動が必要となる。
- ・ 三市合同企業就職説明会について（資料⑥）。事前申込の必要はなく、履歴書を持参していただければ、その場で、参加企業と面接が可能。

#### ■質疑応答・意見交換

- ・ （S氏）：求職者訓練の年齢制限について。年齢制限などあるか。
- ・ （ハローワーク）：年齢制限を設けているものもある。65歳を基準としているもの、35歳以下を対象としているものもある。老齢年金の受給者の場合、受講できない訓練もある。
- ・ （H氏）：若者支援の支援期間について。2か月となっているが、継続されることもあるのか？
- ・ （ハローワーク）：2か月で就労につながらず、延長し継続しているケースも多くある。

#### <案件4 ホースフレンズ事務局(枚方若者サポートステーション)より「中間的就労の場づくり支援事業」の総括>

- ・ 大阪府からの委託を受けて実施。雇用契約をせずに、訓練として就労を体験する。支援を要さずに一般就労を目指すことを最終目標とする。
- ・ 3か月1クール。一日3時間の就労訓練。報酬金として、1日500円。週に2日の参加から開始し、段階的に訓練日数や役割を広げる。
- ・ 最初の3か月は5名参加。次の3か月も5名参加。第3期は、2グループで実施し、11名参加。
- ・ コミュニケーション、生活リズム・体力づくり、ビジネススキルを3点より支援。
- ・ 利用者の半数が一般就労につながり、効果的な支援である。

#### ■質疑応答・意見交換

- ・ （S氏）：支援スタッフの人数はどのくらいか。
- ・ （サポステ）：スタッフ5名。手厚い支援体制。毎回、個別の振り返りも実施。
- ・ （H氏）：大阪府としての事業の総括はどのように考えているのか。
- ・ （サポステ）：自主事業として継続することを望んでいた。自主事業として継続している団体もある。大阪府としては、高校のプラットフォーム化とひきこもり等の中間的就労とどちらも継続を考えていたようだが、高校のプラットフォーム化のみ継続事業となった。
- ・ （子ども青少年課）：就労効果も非常に高いことに関してはどう考えているか。
- ・ （サポステ）：元気になる時間が早い。訓練生同士の結びつきが生まれ、役割分担が出来ていた。仲間がいることで効果が高かったように思う。

#### <案件5 その他>

- ・ N氏：とれぶりんかのトリプルバドミントンについての説明（資料⑦）。世代や課題をこえて、交流できる場として多くの方に参加してもらっている。
- ・ H氏：先日の岐阜県からの視察について。枚方市子ども・若者相談支援センター、枚

方若者サポートステーション、保健所を視察した。多くのことを学び帰ったと感謝の連絡を頂いた。

< 次回開催予定 >

- ・ 第5回 全体会議 12月11日（金）京都府ネットワーク会議との交流を予定

■ 今後の予定

平成28年1月 第3回 ケースカンファレンス

児童生徒支援室・大手前高校より事例提供予定

平成28年2月 第6回 全体会議

家族の会との交流を予定

以上

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 5 回 全体会＞
開催日時	平成 27 年 12 月 11 日（金） 13 時 30 分から 15 時 30 分まで
開催場所	京都府家庭支援総合センター
出席者	大阪府中央子ども家庭センター：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 枚方若者サポートステーション：2 人 保健センター：1 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 障害者就業・生活支援センター：1 人 保健所：1 人 枚方市いきいきネット相談支援センター：1 人 子ども青少年課：3 人 枚方の参加者 13 人 「チーム絆」の参加者 14 人
<p>○「チーム絆」との合同研修・交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府家庭支援総合センターにて、京都府のひきこもり支援団体ネットワーク「チーム絆」との合同研修を行った。京都府、枚方市それぞれの参加者の自己紹介がなされた後、小グループに分かれての意見交換の時間が設けられた。</li> </ul> <p>＜自己紹介＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府家庭支援総合センターより、京都府におけるひきこもり支援について紹介がされた。「チーム絆」は民間の支援団体を中心に、居場所や学習サポート、親の会、就労支援を行う。ひきこもりの初期支援を家庭総合センターはじめ行政が対応し、以降の社会参加や就労といった課題を「チーム絆」の NPO 団体が支援する流れとなっていた。</li> </ul> <p>＜グループ交流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 テーブルに分かれての交流、意見交換。テーマは「ネットワークとしてつながっていれば、支援の連携ができるのか?」。それぞれのテーブルで活発な意見交換がなされた。1 時間ほど後、各テーブルの内容を共有する。意見はさまざまであったが、共通する点としては「ネットワーク会議を定期的に開催すること」「団体ではなく、支援者間で顔を知っている関係をつくること」があがった。</li> </ul> <p>＜スーパーヴァイザーからのコメント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム絆」のスーパーヴァイザーである目良宣子先生より、グループ交流の様子を見てのコメントがなされた。ひきこもり支援について行政が先導していくことが各団体の活性化につながるの意見からはじまり、自身のひきこもり支援の経験談を熱く語っていただいた。</li> </ul> <p>＜次回開催予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 6 回 全体会議 2 月 18 日（木） 家族の会との交流を予定。</li> </ul> <p>■今後の予定 平成 28 年 1 月 第 3 回ケースカンファレンス 児童生徒支援室・大手前高校より事例提供予定。 以上</p>	

会議の名称	平成 27 年度 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ＜第 6 回 全体会＞
開催日時	平成 28 年 2 月 18 日（木） 14 時 00 分から 16 時 00 分まで
開催場所	ラポールひらかた（枚方市総合福祉会館）3 階 和室
出席者	枚方公共職業安定所：1 人 枚方保健所：1 人 枚方市地域就労支援センター：1 人 児童生徒支援室：1 人 枚方市いきいきネット相談支援センター：2 人 障害福祉室：1 人 枚方若者サポートステーション：2 人 大手前高校：1 人 枚方市障害者就業・生活支援センター：1 人 生活福祉室：1 人 ひらかた市民活動支援センター：1 人 家庭児童相談所：1 人 若者支援全国協同連絡会議：1 人 保健センター：1 人 枚方市社会福祉協議会：1 人 民生委員児童委員協議会：1 人 子ども青少年課：5 人 ネットワーク会議参加者計 25 人 ・内閣府関係：2 人 ・家族会など：5 団体 13 人（2 人はネットワーク会議参加者と重複） NPO 法人つばさの会大阪・イシス大阪・カモミール 登校拒否を克服する会北河内交流会・みんなでつくる学校とれぶりんか
	<p>＜若者支援施策の現状について、内閣府担当者と意見交換＞</p> <p>内閣府より、子ども・若者育成支援推進大綱についての説明。平成 22 年に作成された子ども・若者ビジョンの見直しを行い、平成 28 年 2 月に作成。</p> <p>＜家族会・当事者会との意見交換＞</p> <p>・NPO 法人 つばさの会大阪</p> <p>家族会はカウンセラーを迎えて毎月実施。10 人から 15 人が参加。当事者が 40 代から 50 代、親が 70 代と高齢化している。居場所支援は始めて 2 年になるが、参加者が増えず、思ったような効果は得られていない。就労支援として、税理士事務所にて、勉強しながら働く若者もいる。この会に参加して、気持ちが落ち着いてきたという、家族もおられる。イシス大阪と合同で実施することを検討した過去もあるが、人数が多くなると、会で話せる人も減るために、少ない人数で、いくつかグループがある方が良いということになった。</p> <p>・イシス大阪 家族会</p> <p>NPO 法人として活動していた時は枚方公園近くに居場所を開設していたが、閉鎖している。当時の家族会が自主運営として残っている。主に、当事者が居場所に繋がっていない</p>

親たちが中心になって実施してきた。家族にとって、話せる場所があることが精神的な安定になる。自分がしんどかったことを人に話せるようになるという段階を踏んで、前向きな気持ちになる。

・不登校の親の会 カモミール

平成10年に実施した「お母さん自分を責めないで」という講演会を機に結成した自主グループ。不登校の子どもだが、不登校からはじまったひきこもりの親も参加している。

川崎市が実施しているような幅広い世代の子どもや若者が利用できる居場所があればと思う。居るだけで良いんだということを思えることが大切だと感じる。不登校が悪いことではないことを学んだ。子どもたちには力があることを知ることができた。それでもそばにいる親は苦しいこともある。親の会の仲間が居るからこそ頑張れる。

・登校拒否を克服する会 北河内交流会

偶数月には、北河内で交流会を実施し、奇数月には大阪で交流会を実施している。交流会では登校拒否を持つ親とひきこもりを持つ親に分かれて交流会を実施している。

家族会に参加して、多くを学んだ。ひきこもりが家族の中だけで起こったことではなくて、社会や時代の影響を受けていることとか知ることが出来た。昨年度も意見が出ていたが、家族会や当事者会同士の交流会が出来たらと考えている。

・みんなで作る学校 とれぶりんか

専門部に分かれて活動。障害者・高齢者・健常者のトリプル、子ども・若者・シニアのトリプル、文科系・体育系・福祉系のトリプルで地域のコミュニティを作っている。

参加すると誰かが助けてくれる。いろんな立場の様々な世代の人がいて、ごちゃごちゃしているうちに元気になっていく。

・子ども青少年課

居場所支援について説明。子ども若者相談支援センターの相談者の次のステップとして居場所支援を実施している。

<その他>

次回、4月に開催予定。新年度の初回のため、各機関の紹介を実施予定。

以上



資料



# ひらぼ

[資料1]

第3報  
(平成27年4月)

4月から、居場所支援ひらぼに新しいコーディネーター、小田さんが来てくれることとなりました。また次報でご紹介しますね！

新たな風がふきますが、これまでの雰囲気も大事にしつつ、今年度もそれぞれの歩幅でステップを踏んでいければと思います。

よろしくお願い致します。

## 子ども・若者相談支援センターの相談員が増えました。

- 尾本礼子
- 津田佳積
- 南波英和
- 足立倫子

新相談員  
です！

この4人で相談をお聴きします。



こんにちはサポフです。



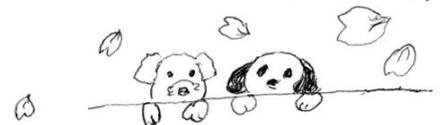
桜前線急上昇中。気温の変化が激しい時です。体調を崩されませんように…♡サポートフレンドの三浦です。早いもので居場所「ひらぼ」が開室されて1年を迎えようとしています。その間、居場所を訪れた方々との素晴らしい出会いがあり、様々な活動を共にしていく中で回を重ねるにつれ、お一人お一人が大切なファミリーのように思えてきて「ひらぼ」は私にとっても居場所になっています。

「ひらぼ」では、参加される方々と一緒にゲームや手芸、運動や散策、料理や映画鑑賞などをしています。その日のその人の体調や気分にあわせて自由参加というところもいい点かなと思います。のんびりとゴロ寝もOKです。もちろん、ご都合にあわせて途中で帰宅されるのもあり！です。

居場所は、お互いが違いを認めあえる場所、相互交渉しあわない場所であり、「ひらぼ」を利用されるみなさんが次の一歩を踏み出されるまでの居場所として、その人の心や居心地の良い場所を作っていく共同作業ができればと思っています。みなさんがいろいろなことにチャレンジされ楽しんでみながら、ご自分に合った好きなことと巡りあわれることを願いながら共に歩みたいと思っています。



メンバーさん作☆  
消しゴムはんこ。  
春ですね～



## ひらぽ 4月の予定

**1日** エイプリルフール杯  
ゲーム大会の日です！エイプリルフールにちなんで、うまくウソをついてかけひきをするゲームに挑戦です。



**8日** お花見  
青少年センターの近くを散策します。満開だといいですね～。葉桜もまたいいものです🌸

**15日** 自由行動  
月に1回は自由行動の日があります。トランプや折り紙などそれぞれがやりたいことを選んで過ごします。もちろん、“何もしない”もあります！

**22日** お菓子づくり  
ひらぽクッキング、スイーツ第3弾です。



前はマフィンを作りました😊

### ツキイチひらぽ同好会

昨年1月から、月に1回（最終金曜日）、更に気楽に参加してもらえるひらぽを開催しています。サークルのような場所になればなと思っています。

今月は…

4/24（金）14時～17時  
子ども青少年課窓口に集合！  
ゲーム大会の予定です☆

## 家族の会の予定

相談に来てくださっているご家族が集まり、お互いの体験を語り、聴き、聴いてもらう場です。相談員から情報や話題の提供をする時間も予定しています。

5月の会では、日常生活の中でどのようにご本人に声かけをするか、お互いにアイデアを出し合いたいと思います。

<27年度の予定>…毎月第2金曜日を基本日程とする予定です

4月10日（金）・5月8日（金）・6月12日（金）・7月10日（金）  
8月14日（金）・9月11日（金）・10月9日（金）・11月13日（金）  
12月11日（金）・1月8日（金）・2月12日（金）・3月11日（金）

○時間：14時～16時

○場所：ラポールひらかた



ご利用の際はまずはご相談から。。

### 発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター

住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20

枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内

電話：843-2255 / FAX：843-2244

# ひらぼう

第4報  
(平成 27 年 6 月)

4 月より居場所支援ひらぼに参加してくれている新メンバーをご紹介します！

☆コーディネーターの小田さんです。



それぞれにとっ  
いろんなカタチの居場所  
になることを目指しています  
小田 純也

イラスト：miura

☆大阪経済大学大学院生の柴田さんです。

柴田さんは半年間、お手伝いをしてくれる予定です。  
とてもおいしい紅茶を入れてくださいます。



こんにちはサポフレです。



みなさんこんにちは…。サポートフレンドの清水由美子です。いつもは枚方市内の特定非営利活動法人ホームページで理事長補佐・管理者補佐として毎日忙しく、楽しくお仕事をしています。(事業内容は、訪問介護・居宅介護・移動サービス・福祉有償移送サービスです。皆さんよろしく願います。)

私が調理師という事で監督役を仰せつかり参加した第一回目の居場所では餃子を作りました。家では王将の餃子を焼くだけの事が多く、餃子包みに失敗しながらも楽しい時間が過ごせました。

二回目は枚方のキリスト教教会の見学だったと思いますが、神父様のお話を聞けなくてとても残念でしたが、案内役の女性が絵に描いたような大阪のおばちゃんて、急に歌い出した時には半分呆れ気味に皆で感心したものでした。

何回かサポフレ活動を積み重ねていくうちに、顔見知りの参加者さんやサポフレさんが出来、人見知り気味の私も自然にお話し出来たりと楽しんで活動が出来るようになりました。みなさんと知り合って55才にして初めて待つことの大切さ、言葉を一度咀嚼してから発言することを教わりました。少しずつですが自分の成長とともに、参加者さんとの楽しい居場所づくりを続けていきたいと思っています。

次女 チップちゃん  
7歳 (ロングコート  
・イザベラタン)



長女 ミットちゃん  
10歳 (ロングコート  
ブラックタン)

長男 バット君  
もうすぐ11歳  
(スムース・  
イザベラタン)



清水家のチビっ子ギャング達です。(バットで寛いでいる所をパチリ)

## ひらぽ 6月の予定



- 3日 スケッチ
- 10日 自由行動
- 17日 ジョジョ体操第2部!
- 24日 ステンシルアート

ツキイチひらぽ同好会  
 今月は…  
 6/26(金) 14時~17時  
 子ども青少年課窓口に参加!  
 ゲーム大会の予定です☆

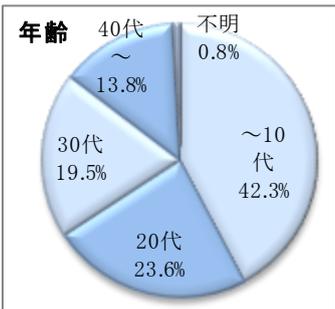
7月から、毎週水曜日に加えて、月に2回程度、日数を増やす予定です。  
 お楽しみに☺

### 平成26年度の相談状況のご報告

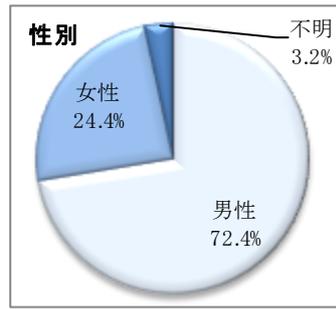


新規相談が123件、継続相談が993件、合計延べ相談件数は1116件でした(内、面接相談1029件、電話相談87件)。相談は1回で適切な情報提供をさせていただく場合もありますが、多くは時間をかけながら継続した相談を重ねています。

### ～新規相談(123件)の内訳～

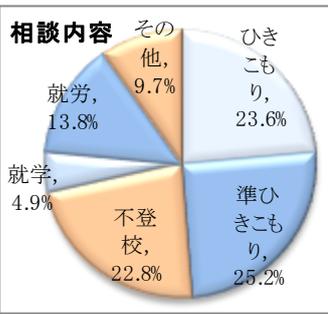


ご本人の年齢層はグラフのとおりです。幅広くご相談をお受けしています。

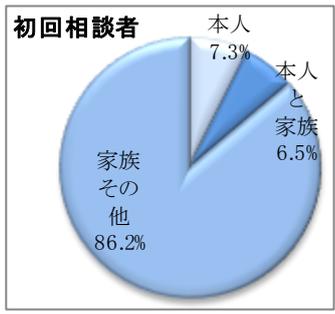


男性が7割ほどですが、もちろん女性のご相談も多くあります。

相談内容も様々です。複数の内容を含んでいることも多いです。(グラフは主な内容ひとつの集計です)



初回の相談者は8割強がご家族からの相談です。ご家族との相談を通して、ご本人とつながっていくことを一緒に考えていきます。



まずはじっくりお話を聴かせてください。

ご利用の際は、ご相談から。。

## 家族の会の予定

- 今後の日程は…
- 〇日にち： 6月12日(金)
  - 7月10日(金)
  - (毎月第2金曜日が基本日程です)
  - 〇時間： 14時～16時
  - 〇場所： ラポールひらかた



### 発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター  
 住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20  
 枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内  
 電話：843-2255 / FAX：843-2244

# ひらぼ

第5報  
(平成27年8月)

暑い日々が続いていますが、みなさんお元気でしょうか？  
7月からは居場所支援「ひらぼ」の活動が月2回程度、増えました。  
これからも、みなさんと一緒に、いろいろなアイデアを出しあって、  
それぞれにとって居心地の良い「ひらぼ」を作っていけたら良いなと思っています。



研修生の柴田です。



イラスト：miura

皆さん、こんにちは。大学院より研修に来ている「柴田年子」です。暑い日々が続いていますね。いかがお過ごしでしょうか？

「ひらぼ」に来てから、はや4か月が過ぎました。

ジョジョ体操(漫画『JOJOの奇妙な冒険』より)に挑戦しました！！

ご縁があって、「ひらぼ」に来てから、参加者の方々、枚方市役所の方々、サポフレの方々多くの方と出会いました。毎回企画も楽しく、「ジョジョ体操」には、燃えました。フラダンスの楽しさも教えてもらいました。これからもいろいろな企画が楽しみです。たまに大好きな紅茶(超高級)(笑い)も皆さんに飲んでもらって、大満足です。

写真は、うちの家の姫です。通称「ちょぶ」スコティッシュホールドの女の子なのです。正式名は、柴田・クーにゃん・ちょびたです。狩りの猫の習性か投げたボールなんかを取って来たりすることもできるんですよ。



## ●一ひとひとが自分らしくー 子ども・若者支援のための市民連続講座

ひきこもり等の支援について、市民の皆様にご覧いただく機会となればと思います、今年度も連続講座を開催します。申し込み・詳細は、子ども青少年課まで。第3回以降の申し込みは10/5(月)より。各回定員50名。

日程	テーマ(講師)	場所
① 9月12日(土) 14:00~	困難を有する若者の現状 一見えない未来ー (中央大学文学部教授 古賀正義さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1
② 10月4日(日) 14:00~	日本社会の変容と若者の現状 (東京大学大学院教育学研究科教授 本田由紀さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1
③ 11月7日(土) 14:00~	ひきこもり支援の現場から (NPO法人青少年自立援助センター理事長 工藤定次さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1
④ 11月28日(土) 15:00~	医療機関から見たひきこもりと回復へのアプローチ ー本人と家族がー歩先に進むためにー (三家クリニック臨床心理士 岡崎剛さん)	メセナひらかた会館 5階 視聴覚室
⑤ 1月9日(土) 14:00~	ひきこもっている子どもの未来 ーお金の面から考えるー (ファイナンシャルプランナー 浜田裕也さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1

### ひらぽ 8月の予定

5日(水) 自由行動(消防訓練)

10日(月) 倉庫掃除&かき氷

19日(水) ステンシルアート

26日(水) ステンシルアート

28日(金) クッキー作り



今月の

ツキイチひらぽ同好会

8/27(木) 14時~17時  
子ども青少年課窓口に集合!  
ボードゲーム大会の予定です☆

9月23日(水)に開催されます“ひらかたNPOフェスタ”に「ひらぽ」の皆さんと参加します!  
当日は、さまざまな団体が発表・バザー・体験などを通じて、普段の活動の紹介をします。  
「ひらぽ」ではステンシルアート体験とラムネの販売を予定しています。

### 家族の会の予定

今後の日程は…

○日にち: 9月11日(金)

10月9日(金)

(毎月第2金曜日が基本日程です)

○時間: 14時~16時

○場所: ラポールひらかた



発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター

住所: 〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20

枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内

電話: 843-2255 / FAX: 843-2244

# ひらぼう

第6報  
(平成27年10月)

徐々に肌寒くなってきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？  
9月の居場所支援「ひらぼ」ではNPO フェスタに初参加しました！！



こんにちは。「ひらぼ」のコーディネーターをしている小田です。はじめましての方もいると思うので簡単に自己紹介を。私は普段は臨床心理士として病院の精神科や電話相談などで働いており、そのようななかで「ひらぼ」のコーディネーターもさせていただいています。血液型はO型で、ピチピチの20代おとめ座男子です!(^^)!

コーディネーターの  
小田です！



好きな食べ物はカレー(辛口上等)で、いつかはオーロラを観に行きたいと願っているようなロマンチストな一面もあります(笑) ヴィジュアルは河童に似ていると言われるので、河童をシュツとした感じにして想像していただくと大体合っているかと。 Donald Duckのものまねが特技なので、「ひらぼう見ました」と声をかけてもらえると、運が良ければ枚方のDonald Duckに会えるかもしれません(^^)

さて、自分語りはこれぐらいにして… 私が4月から居場所に参加してもうすぐ半年が経ちます。利用者の方やサポートフレンドの皆さんに助けをもらいながらの日々で、ほんとうに感謝です m(\_)\_m そのおかげもあって、多岐のジャンルにわたる「ひらぼ」ならではの活動も実現してきました。そして、なんと先日はNPO フェスタというお祭りにも参加できました。販売したラムネも完売し、ステンシルアートの体験やボディペイントもお子様に大好評で、大成功に終わりました！これは立派な就労体験であり、それぞれが色々な思いを抱え、色々なかたちでフェスタに参加できたことを大変嬉しく感じています(涙) 本当にご協力ありがとうございました。

今後も図々しく皆さんのお力をお借りしながら、それぞれにとっての“居場所”を提供できたらと思います。細々ながらも着々と色々な活動をしていくので、今後の「ひらぼ」の動向を要チェックです！ちなみに10月はスポーツの秋やハロウィンにちなんだ活動を予定しています。どうぞこれからもよろしく願いいたします。

## NPOフェスタに参加しました！！

9月23日(水・祝)、NPO フェスタにひらぼで参加しました。

ステンシルアートの展示と体験、ラムネの販売を実施しました。

心配していた天気にも恵まれ、ラムネはなんと完売しました！！

ボディペイントやステンシルアートの体験も、子ども達に喜んでいただけました。



ボディペイント☆

### ●一ひとひとが自分らしくー 子ども・若者支援のための市民連続講座

ひきこもり等の支援について、市民の皆様にご覧いただく機会となればと思い、今年度も連続講座を開催しております。第2回まで終了致しました。多くの市民のみなさんにご参加いただいております。申し込み・詳細は、子ども青少年課まで。各回定員 50 名。

日程	テーマ(講師)	場所
11月7日(土) 14:00~	ひきこもり支援の現場から (NPO法人青少年自立援助センター理事長 工藤定次さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1
11月28日(土) 15:00~	医療機関から見たひきこもりと回復へのアプローチ 一人ひとりと家族が一歩先に進むためにー (三家クリニック臨床心理士 岡崎剛さん)	メセナひらかた会館 5階 視聴覚室
1月9日(土) 14:00~	ひきこもっている子どもの未来 ーお金の面から考えるー (ファイナンシャルプランナー 浜田裕也さん)	ラポールひらかた 3階 研修室1

#### 家族の会の予定

今後の日程は…

○日にち： 11月 9日(金)

12月18日(金)

(毎月第2金曜日が基本日程です)

○時間：14時~16時

○場所：ラポールひらかた



#### 発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター

住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20

枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内

電話：843-2255 / FAX：843-2244

# ひらぼう

第7報  
(平成27年12月)

紅葉の深まりをすっ飛ばして急に冬に突入という印象の12月の始まりですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？ひらぼうも第7号、なんと2年目となりました！



こんにちは。突然ですが、みなさん映画はみますか？

ワタクシはといえば“ほどほど”…です。ツタヤでたまにレンタルする程度ですかね。でも映画って本当に素晴らしいですよ。120分ほどの時間のなかに“人生”がつまっています。正月はゆっくり映画でも観て過ごしたいものです。

大作、名作と呼ばれる映画は多くありますが、その影にはそれ以上の数の駄作があふれていることでしょう。お金払って観た映画がつまらないものと本当に“クソつたれ”な気持ちになります。そんなB級な映画のなかにも時として出会えたことへの感謝の念すらおきてくる、ふしぎな“怪作”と呼べるものがあります。

これを書きながら思い出したんですが、『エアスコーピオン』という映画があります。名前からしてB級臭プンプンですが、テレビでこれを見たときには衝撃を受けました。内容は旅客機のなかに持ち込まれたサソリが気圧とか遺伝子操作とかなんやかんやの影響で巨大化して人を襲うというもの。もうそれだけでツッコミどころだらけなんです。登場人物もクセありすぎで、例えば人相が吸血鬼っぽいことを気に病んでる通称「ドラキュラ」という青年がいきなり出てきて、「俺はどうせ吸血鬼なんだ…」と意味不明にへタれたあげく、すぐ死んじゃいます。そのくせ貨物室にはドラキュラが持ち込んだバカでかい棺おけがあったりして、“おまえドラキュラ嫌や言うって棺おけて…全力でドラキュラやないかい！”と突っ込まざるをえません。しかもサソリに追いつまれた主人公とヒロインがその棺おけのなかに逃げ込むと、いきなり甘い雰囲気になってイチャつき出します。もう展開が怒涛すぎて観てる側は完全に置いてけぼりです。他にもヒロインが電気マッサージ機で無双したり、サソリの親玉の巨大サソリクイーンが出てきたりやりたい放題です。演じている俳優もいい感じに大根で、吹き替えの過剰演技と相まってステキすぎることになっています。

これでもかと言わんばかりのシュールなボケの嵐に、これ完全に開き直ってやってるよなと途中から確信しました。制作はアメリカですが、アメリカ人のこういう感性が僕は大好きです。『エアスコーピオン』、一度ごらんになってはいかがでしょう。名作、大作映画もいいですが、この冬、みなさんもそうした知られざるB級映画を探してみることをおすすめします。ある意味で“人生”を感じる体験になるかと思えますよ。

コーティネーターの  
南波です！



まあ僕は正月、普通に『スターウォーズ』観に行きますけどね！Hooooo！！

←11月のひらぼうで作ったガイコツスイートポテト 全然スイートじゃない！



## サポートフレンド養成講座を開催します

居場所支援ひらぼにて、若者の皆さんとともに過ごし、自立に向けた活動をサポートして下さるボランティアスタッフである、サポートフレンドの養成講座を行います。



日にち	テーマ（講師）
①2月19日（金）	ひきこもり等の子ども・若者支援～若者理解と支援の実際～ （田中俊英さん：一般社団法人 office ドーナツトーク代表）
②3月2日（水）	居場所支援の役割～「ひらぼ」の現場より～ （小田純也さん：ひらぼコーディネーター 南波英和さん：ひきこもり等子ども・若者相談支援センター相談員）
③3月10日（木）	これからの子ども・若者支援～講座をふりかえって～ （宮原輝彦さん：枚方公園青少年センター青少年相談・相談員）

14時～16時 ラポールひらかた及び枚方公園青少年センターにて  
原則全3回受講された方は、サポートフレンドとして登録することができます。



## ひらぼ 12月の予定 pick up!

6回の開催の中からおすすめをご紹介します！

### 7日 名言かるた作り

好きなマンガ、アニメ、映画、ゲーム、小説、偉人、歌…の、お気に入りのセリフやフレーズで、かるたを作ります！大募集中です！

### 16日 キャンドルづくり

クリスマスも近いですし、手作りキャンドルに挑戦☆



### 21日 うどん作り

年越しうどんで、年内をしめくくり。いちから手作りしますよ～



## 家族の会の予定

今後の日程は…

○日にち： 12月18日（金）  
1月 8日（金）

※毎月第2金曜日が基本日程です

※12月は日程を変更しています

○時間：14時～16時

○場所：ラポールひらかた



ご利用の際はまずご相談から。。。

ひらぼロゴ制作プロジェクト  
ひそかにひっそり進行中  
乞うご期待！



## 発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター  
住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20  
枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内  
電話：843-2255 / FAX：843-2244

# ひらぼう

第8報  
(平成28年2月)

寒い季節の中にも、暖かい日差しをふわりと感じる日もでてきました。  
ひらぼう第8報も、元気にお届けします！



みなさん、こんにちは。相談員の尾本です。

冬らしく寒い日も増えてきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？

暖冬ということで体が慣れてしまったのか、本来の冬の寒さが身にしみます。南国鹿児島育ちの私にとっては、寒さが厳しい毎日です。桜島の火山灰は慣れっ子なのですが、雪は不慣れです。

『ひらぼう』は、はじめましてなので、少し自己紹介をしたいと思います。出身は鹿児島県、学生時代は広島で過ごしました。鹿児島で働いていたのですが、結婚を機に2年前に大阪に引っ越してきました。たこ焼きが好物です。趣味は、野球観戦（広島カープ）とフラダンスです。フラダンスは結構良い運動になりますよ～。今はハワイに行くのが夢です。最近は時短料理というものにはまっています。



昨年4月から子ども・若者相談支援センターの相談員として居場所支援「ひらぼ」にも参加させてもらっています。みなさんの助けをもらいながら、色んな活動に取り組むことが出来て、感謝しています。

時には、自由行動でゆったりしたり、時には、河川敷を走り回ったり、時には、調理でおいしい料理を食べたり…（私は作るより食べる楽しみが勝っています。笑）。カードゲームもなかなか面白いです。先日は、ひらぼ版名言カルタ作りも実施しました。著名人の名言やアニメの台詞、歌の歌詞など、とても楽しいカルタが完成しました。

「ひらぼ」には、みなさんいろんな目標を持って参加されていると感じています。家から外出すること、体力をつけること、活動量を増やすこと、苦手な活動にも取り組めるようになること、人と一緒に過ごせるようになること、楽しみを誰かと共有すること、人との接し方を学ぶこと…等。

それぞれの方が、今の自分に大切なことは何かを一緒に見つけながら、それに少しずつもお役に立てる「ひらぼ」でありたいと思っています。

これからも、みなさんとアイデアを出し合って、「ひらぼ」を作りあげていけたら良いと思っています。よろしくお願いします。



# ひらぽかるた 第1版できました!

今後もそくそくバージョンアップしていきます!  
ひらぽメンバー作成の、名作たちをいくつか  
ご紹介します。



↑裏面はひらぽのロゴ入り☆

**い**

「いつか必ず迎えに来ると  
待ってろ 待ってろ」

「緋の鐘金術師」



**き**

「近代になって神々は病氣  
に姿を変えた」

C.G. ユング



**か**

「顔くせい」

「千原タ」



**つ**

「月に向かって打て!」

東映フライヤース監督志野・大杉陽男



**あ**

アンティとフランク

「朝虫ペダル」



## ひらぽ3月の予定 pick up!

6回の開催の中からおすすめをご紹介します!

### 11日 葉脈標本づくり

葉っぱの葉肉部分を取り除き、  
葉脈だけにした標本をつくります。  
インテリアやアクセサリーにしても素敵ですよ。



### 16日 ドミノ作り!

カプラの積木をつかって、  
ドミノ倒しを作ろう。  
和室いっぱい並べられるか!?



### 23日 毎日新聞ポスティング体験

ちらしのポスティングに、メンバーみんなで挑戦  
します。お仕事体験です。

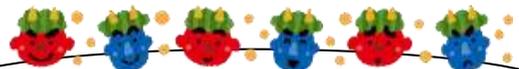
### 30日 自由行動 だけど…

かるたがしたいです。(by コーディネーター)

## 家族の会の予定

今後の日程は…

- 日にち： 3月11日(金)  
※毎月第2金曜日が基本日程です
- 時間： 14時~16時
- 場所： ラポールひらかた



ご利用の際はまずご相談から。。

### 発行元・お問い合わせ先

枚方市子ども・若者相談支援センター  
住所：〒573-8666 枚方市大垣内町 2-1-20  
枚方市役所別館 5階・子ども青少年課内  
電話：843-2255 / FAX：843-2244

## 内閣府 子ども・若者支援地域協議会設置促進事業

# 一ひといいひといいが自分らしく一

## 子ども・若者支援のための市民連続講座

第1回 9月12日(土) 14:00～ 場所:ラポールひらかた 3F 研修室1

### 困難を有する若者の現状 ー見えない未来ー

古賀 正義さん(中央大学文学部教授)

第2回 10月4日(日) 14:00～ 場所:ラポールひらかた 3F 研修室1

### 日本社会の変容と若者の現状

本田 由紀さん(東京大学大学院教育学研究科教授)

第3回 11月7日(土) 14:00～ 場所:ラポールひらかた 3F 研修室1

### ひきこもり支援の現場から

工藤 定次さん(特定非営利活動法人青少年自立援助センター理事長)

第4回 11月28日(土) 15:00～ 場所:メセナひらかた会館 5F 視聴覚室

### 医療機関から見たひきこもりと回復へのアプローチ ー本人と家族が一步先に進むためにー

岡崎 剛さん(三家クリニック臨床心理士・メンタルワークス大阪代表)

第5回 1月9日(土) 14:00～ 場所:ラポールひらかた 3F 研修室1

### ひきこもっている子どもの未来 ーお金の面から考えるー

浜田 裕也さん(ファイナンシャルプランナー)

【定員】各回 **50** 人 【時間】 2 時間程度

【申し込み】

☆第1回・第2回は、8月3日(月)10:00～

☆第3回～第5回は、10月5日(月)10:00～

いずれも市役所別館5階 子ども青少年課へ。電話・電子メール・ファックス可。

住所・氏名・電話番号・参加希望日を明記のこと。

枚方市では、ひきこもり等の御本人・御家族からの相談を「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」でお受けしています。  
TEL : 072-843-2255 (平日 9:00～17:30)

枚方市 子ども青少年部 子ども青少年課

枚方市大垣内町2丁目1番20号 枚方市役所 別館5階

TEL: 072-841-1375 FAX: 072-843-2244 E-Mail: kodosei@city.hirakata.osaka.jp



# サポートフレンド養成講座

～ひきこもりや不登校の子ども・若者たちの次のステップをともに～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センターでは、ひきこもりやニート、不登校の状態にあるご本人やご家族の相談をお受けしています。また、ご本人への相談支援のひとつとして、居場所支援「ひらぼ」を行っています。「ひらぼ」は、相談員との1対1の関係からステップアップして、少人数の中で経験を積む居場所です。

このたび、「ひらぼ」にて若者のみなさんとともに過ごし、自立に向けた活動をサポートして下さるボランティアスタッフである、サポートフレンドの養成講座を行います。



原則全3回受講  
された方は、  
サポートフレンド  
として登録する  
ことができます。

## 第1回 ひきこもり等の子ども・若者支援 ～若者理解と支援の実際～

日時：2月19日（金）14時～16時

講師：田中 俊英さん（一般社団法人 office ドーナツトーク代表）

場所：ラポールひらかた 研修室2

## 第2回 居場所支援の役割 ～「ひらぼ」の現場より～

日時：3月2日（水）14時～16時

講師：小田 純也さん（居場所支援「ひらぼ」コーディネーター）

南波 英和さん（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター相談員）

場所：枚方公園青少年センター 和室

## 第3回 これからの子ども・若者支援 ～講座をふりかえって～

日時：3月10日（木）14時～16時

講師：宮原 輝彦さん（枚方公園青少年センター青少年相談・相談員）

場所：ラポールひらかた 研修室2

### <問い合わせ先>

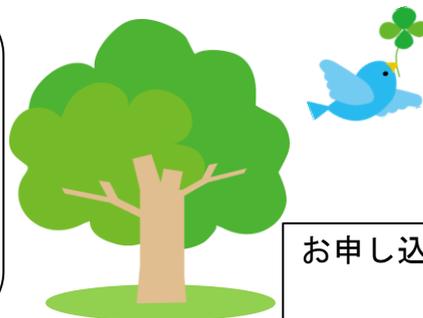
枚方市役所子ども青少年課

枚方市大垣内町2丁目1番20号

枚方市役所別館5階

TEL：072-841-1375 FAX：072-843-2244

E-Mail：kodosei@city.hirakata.osaka.jp



お申し込み方法は  
裏面へ～

## お申し込み方法

2月1日（月）より、表面の問い合わせ先、市役所別館5階・子ども青少年課にて受付をします。

電話、Eメール、ファックスも可。

氏名、住所、電話番号、講座名、参加希望日を明記の上、お申し込みください。

## 定員

各回先着30名

## 参加費

無料

## サポートフレンド



ステンシルアート



河川敷にて



手作りクッキー

原則全3回受講された方は、サポートフレンドとして登録することができます。

[サポートフレンド活動の例]

- ・ ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの相談支援のひとつとして実施している居場所支援「ひらぼ」にて、参加者の活動をサポートしていただきます。参加する子ども・若者のみなさんの状態や人数、内容に応じてお声かけをさせていただきます。
- ・ その他、枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援に対する理解を深めていただくため、各種取り組み等について案内をさせていただきます。

### \*\*\*\*\* サポートフレンド養成講座 【参加申込書】 \*\*\*\*\*

氏名		
住所		
電話 ファックス Eメール等		
	講座名（参加希望日に○）	参加希望欄
	2月19日（金）第1回 ひきこもり等の子ども・若者支援	
	3月2日（水）第2回 居場所支援の役割	
	3月10日（木）第3回 これからの子ども・若者支援	

# 枚方市青少年サポートマップ

枚方市には、悩みや不安を抱えている青少年のみなさんやご家族に寄り添って、お話を聴き取る場所があります。ひとりで悩まず、一度相談してみませんか？

枚方市 子ども青少年課  
〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1番20号  
072-841-1375

マップで場所を確認してみよう！  
相談窓口の詳細は裏面だよ。



枚方市 ひこぼしくん



©枚方文化観光協会

ほっと一息、枚方八景の散策もおすすめだよ。



©枚方文化観光協会

八景 樟葉宮跡の杜



継体天皇樟葉宮跡 文野天神社

10 いきいきネット相談支援センター  
3 (地域包括支援センターごまのひ)

樟葉生活学習市民センター  
樟葉図書館

八景 牧野の桜



14 基幹相談支援センター  
5 (相談支援センター 隔だまり)

★中央図書館



八景 百済寺跡の松風

12 枚方市保健所

八景 山田池の月



10 いきいきネット相談支援センター  
4 (地域支援センター ゆい)

14 基幹相談支援センター  
3 (地域支援センター ゆい)

八景 国見山の展望



ひとりで悩んでいませんか。わたしたちがお手伝いします。

居場所やイベントに参加したい。同じ立場の人に会いたい。  
① 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター  
② ひらかた市民活動支援センター  
③ 家族会など

ひきこもり・ニート等に関する相談  
① 枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

就職に向けて相談したい。  
② 枚方市若者サポートステーション  
③ 枚方市地域就労支援センター

地域における相談  
⑩ いきいきネット相談支援センター  
⑪ 民生委員児童委員・主任児童委員

ご本人  
ご家族

こころの健康に関すること  
⑫ 枚方市保健所  
⑬ 心の健康相談

ひきこもりや不登校を含む青少年相談全般  
⑥ 枚方公園青少年センター<青少年相談>  
⑦ 大阪府中央子ども家庭センター分室<青少年相談コーナー>

不登校、いじめなど幼小中学生の教育相談  
⑧ 子ども笑顔を守るコール

0~18歳までの子育てに関する相談  
⑨ 枚方市家庭児童相談所

障害に関する相談  
枚方市役所障害福祉室  
⑭ 基幹相談支援センター  
⑮ 障害者相談支援センター

相談先に迷った時は、右の図を参考してみてください。内容別に色分けしてあるよ。

5 登校拒否を克服する会。北河内交流会

光善寺  
陸奥生活学習市民センター  
陸奥図書館

香里園

### 1 ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

対象者	おおむね15歳から39歳までの本人、家族、関係者
支援内容	ひきこもり、ニート、不登校に関する相談をお受けし、継続して対応方法や支援と一緒に考えていきます。必要に応じて、より適した支援機関等におつなぎします。次のステップとしての居場所支援や家族の会も行っていきます。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-8666枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所別館5階・子ども青少年課
Tel/Fax	【Tel】072-843-2255 【Fax】072-843-2244

### 2 枚方若者サポートステーション

対象者	15歳から39歳のニートの若者と、その家族、関係者
支援内容	就労支援：仕事をしていない、学校も行っていない若者の悩み相談や、就職・職場定着に向けた支援を行います。
相談方法	面接相談・訪問相談（要予約・無料） 火～土曜日（祝日を除く） 9:00～18:00
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-1サンブラザ1号館305号室
Tel/Fax	072-841-7225

### 6 <青少年相談> 枚方公園青少年センター

対象者	おおむね26歳までの青少年及びその保護者等
支援内容	専門の相談員（児童養護施設指導者、臨床心理士、ひきこもり相談士）が、いじめ、不登校、ひきこもり、中途退学、人間関係等の青少年相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 毎月 第1月曜日（17:00～19:50） 第3月曜日（15:00～18:50） （予約受付は9:00～17:00・第4月曜を除く）
住所	〒573-0058枚方市伊加賀東町6-8
Tel/Fax	【Tel】072-844-7830 【Fax】072-843-4699
E-mail	sodan7830@city.hirakata.osaka.jp （問い合わせ専用）

### 7 <青少年相談コーナー> 大阪府中央子ども家庭センター分室

対象者	中学卒業からおおむね25歳まで
支援内容	青少年に関する相談をお受けします。また、子どもライフサポートセンターなどへの入所の相談も受けています。 ※大阪府中央子ども家庭センター（寝屋川市）でも相談ができます。 〒572-0838寝屋川市八坂町28-5 【Tel】072-828-0161 【Fax】072-828-5319
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:45
住所	〒573-0027枚方市大垣内町2-15-1北河内府民センタービル
Tel	072-844-1331（代）

### 8 枚方市家庭児童相談所

対象者	18歳未満の子ども及びその保護者
支援内容	子どもとの接し方・親子関係・友達関係・発達・行動上の問題など、様々な相談に専門の相談員が応じます。まずは電話でご相談ください。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-3-410サンブラザ3号館4階
Tel/Fax	【Tel】050-7102-3221 【Fax】072-846-7952

### 9 <子どもの笑顔を守るコール> 教育委員会児童生徒支援室

対象者	幼稚園・小学校・中学校の本人、その保護者、教職員など
支援内容	いじめ、友達関係、不登校に関する事など、学校生活全般についての教育相談をお受けします。
相談方法	電話相談（無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:00
住所	〒573-1159枚方市東塚1-1-1
Tel	【いじめ専用ホットライン】:072-809-7867 【教育安心ホットライン】:072-809-2975

### 3 枚方市地域就労支援センター (NPO法人枚方人権まちづくり協会)

対象者	枚方市在住の方（年齢不問）
支援内容	働く意欲がありながら、様々な理由で仕事に就くことが出来ない方を対象に、就労に関する相談や講座・セミナー紹介などを行っています（職業紹介は行っていません）。
相談方法	面接相談（要予約・無料） 月・火・水・金曜日（祝日を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンブラザ1号館5階
Tel/Fax	【Tel】072-844-8788 【Fax】072-844-8799

### 4 (特活)ひらかた市民活動支援センター

対象者	特に限定なし
支援内容	当事者の団体、当事者の支援をしている団体、居場所づくりができる団体が登録しています。これらの情報提供や紹介ができます。
相談方法	電話相談・面接相談（要予約・無料・場合によっては有料） 月・火・木・金・土曜日 9:30～20:30 日曜日：第4火曜日 9:30～17:30
住所	〒573-0042枚方市村野西町5-1サブ1村野内
Tel/Fax	【Tel】072-805-3537 【Fax】072-805-3532
E-mail	info@hirakatanpo-c.net

### 10 いきいきネット相談支援センター (市内4か所)

対象者	地域における高齢者、障害者、ひとり親家庭など支援を必要とする方とその家族・親族の方
支援内容	福祉や地域の情報に詳しいコミュニティソーシャルワーカー（地域相談員）が、福祉に関する困り事の相談をお受けします。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:30

**1 枚方市社会福祉協議会**  
【住所】〒573-1191枚方市新町2-1-35ラポールひらかた1階  
【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897

**2 NPO法人枚方人権まちづくり協会**  
【住所】〒573-0032枚方市岡東町12-1-502サンブラザ1号館5階  
【Tel】072-844-8866 【Fax】072-844-8799

**3 地域包括支援センターこもれび**  
【住所】〒573-1105枚方市南楠葉1-30-1-203  
【Tel】072-856-9155 【Fax】072-856-9188

**4 地域支援センターゆい**  
【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21  
【Tel】072-808-2433 【Fax】072-808-2423

### 11 民生委員児童委員協議会

対象者	市民の皆様
支援内容	「あなたの身近な相談員」として、生活福祉、高齢者、児童、障害者（児）福祉について、人に寄り添う活動をしています。
相談方法	各地域の民生委員児童委員または、主任児童委員にご相談ください。 ご不明な時は、下記までお問い合わせください。
住所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた枚方市社会福祉協議会 地域福祉課
Tel/Fax	【Tel】072-807-3448 【Fax】072-845-1897

### 12 枚方市保健所

対象者	原則18歳以上の本人、家族、関係者
支援内容	こころの病（統合失調症・うつ病・認知症・アルコール依存症などの精神疾患、ひきこもりなど）についての相談を、精神科医、ケースワーカー及び保健師が行います。
相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談（要予約・無料） 月～金曜日（祝日を除く） 9:00～17:30
住所	〒573-0027枚方市大垣内町2-2-2 枚方市保健所 保健予防課 精神保健グループ
Tel/Fax	【Tel】072-807-7625 【Fax】072-845-0685

### 13 <心の健康相談> 枚方市社会福祉協議会

対象者	特に限定なし
支援内容	心の悩みや不安について、専門の相談員が相談に応じます。
相談方法	面接相談（無料） 毎週金曜日（祝日を除く） 13:00～16:00 （受付時間 12:30～15:30）
住所	〒573-1191枚方市新町2-1-35 ラポールひらかた
Tel	072-841-0184

### 5 家族会など

不登校・ひきこもりの若者の居場所や、その家族の交流の場です。まずは電話等でお問い合わせください。

**NPO法人つばさの会大阪** 家族 本人

活動内容	●親の会：毎月第3日曜日 年会費3000円、月会費1000円 ●居場所支援：毎週1回、当事者の若者が参加して勉強会やスポーツを行っています。 ●場所：いずれもサブ1村野 〒573-0027枚方市大垣内町1-3-1マインドビル4階 【Tel】072-844-2423 【E-mail】joke@joke-jp.com
連絡先	イシス大阪 家族会
活動内容	●例会：毎月第2日曜日 ●会員：年会費2000円、例会500円 非会員：例会1000円（初回は無料） ●場所：メセナひらかた会館 〒546-0024大阪市東住吉区公園南矢田1-17-7-1103 【Tel/Fax】06-6696-0967（山根）
連絡先	不登校の親の会「カモミール」 家族
活動内容	●定例会：毎月第1日曜日、第3土曜日 ●会員：年会費1000円、定例会1回100円 非会員：定例会1回300円 ●場所：メセナひらかた会館（カウンセラー随時参加） 【Tel/Fax】072-832-5591（中谷）
連絡先	登校拒否を克服する会・北河内交流会 家族
活動内容	●交流会：偶数月第3日曜日 （学齢期と青年期に分かれて交流します。） ●参加費：交流会1回500円 ●場所：銚子生涯学習市民センター・ぷらっとねがわ 〒573-0128枚方市津田山手1-6-4 【Tel/Fax】072-859-7756（古庄・ふるしよう）
連絡先	みんなでつくる学校 とれぷりんか 家族 本人
活動内容	●ご家族、ご本人からの相談をお受けします。 ●仲間で作る様々なグループ（劇団、音楽、畑、ボランティア等）があり、体験学習を通して互いに元気になる活動を行っています。
連絡先	〒573-1146枚方市牧野阪1-22-1岡田ハイツ203 【Tel】072-826-3552/090-4289-5317（中川）

### 14 基幹相談支援センター 障害者相談支援センター

対象者	障害者・障害児等（本人、家族、関係者）
支援内容	障害のある方の日常生活全般（福祉サービスの利用・住まい、日中活動・権利擁護など）についての相談をお受けします。必要に応じて関係機関と連携し、紹介等も行います。（相談は要予約・無料）

**1 障害者相談支援センターわらしべ**

相談方法	電話相談・面接相談 月～金曜日 9:00～18:00
連絡先	【住所】〒573-0164枚方市長尾谷町1-101-1 【Tel】072-868-1301 【Fax】072-868-3305 【E-mail】tikatu.sora@gmail.com

**2 パーソナルサポートひらかた ☆**

相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
連絡先	【住所】〒573-0011枚方市中宮山戸町10-12-105 【Tel】072-848-8825 【Fax】072-848-7920 【E-mail】pa-so@nifty.com

**3 地域支援センターゆい ☆**

相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日（祝日・年末年始を除く） 9:00～17:30
連絡先	【住所】〒573-0127枚方市津田元町1-9-21 【Tel】072-808-2422 【Fax】072-808-2423 【E-mail】yui@hirakata-shakyo.net

**4 地域生活支援センターにじ**

相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日（祝日を除く） 9:30～17:00
連絡先	【住所】〒573-0066枚方市伊加賀西町52-12 【Tel】090-8216-4911 【Fax】072-845-1451

**5 相談支援センター陽だまり ☆**

相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 13:00～18:00（祝日・年末年始を除く）
連絡先	【住所】〒573-1161枚方市交北2-7-15 【Tel/Fax】072-809-0015 【E-mail】hidamari@e-sora.net

**6 クロスロード**

相談方法	電話相談・面接相談・訪問相談 水～日曜日 10:00～18:00
連絡先	【住所】〒573-0028枚方市川原町9-4第2浜田ビル 【Tel/Fax】072-843-4100 【E-mail】crossroad@s3.dion.ne.jp

☆印は地域の相談支援の拠点となる基幹相談支援センター



# 枚方市 青少年サポートブック



枚方市子ども青少年部子ども青少年課



## はじめに

このたび、ひきこもりや不登校、就労についての相談を中心に、子ども・若者支援のための青少年サポートブックをまとめました。

ひきこもり等の生きづらさを感じることは、特別なことではなく、さまざまなきっかけや、積み重ね、その状況の重ね合わせでなりうるものです。また10代の若い世代だけに現れることでもなく、個人や家族だけの問題でもありません。背景には、心身の病気や、障害、人間関係での傷つき、就労上のつまずき、経済的な困難、社会の構造等、さまざまあると言われています。

ご本人やご家族だけで一歩踏み出すことが難しい時、これだけの窓口があること、その先に、お役に立ちたいと思っている人たちがいるということを知ってほしい、おせっかいかもしれませんが、そのような情報がお届けできればと思っています。

まず、ご相談できる場所を、そして、具体的な資源におつなぎする窓口を、さらに次のステップになる場所等をご紹介します。

ひとりひとりの歩幅に合わせたステップを、ともに歩いていくことができれば、そのためにこの青少年サポートブックを活用していただければ幸いです。

枚方市子ども青少年部子ども青少年課

## 頑張ってます！まちづくり 枚方市

更新日:平成27年7月23日

### 枚方市におけるひきこもり等の支援の取り組み

#### 1. 子ども青少年部の創設

枚方市では、平成24年4月に機構改革がおこなわれ、子ども・若者の施策を総合的に統括するため、市長部局に子ども青少年部が創設され、教育委員会から青少年健全育成の部門が新たに創設された子ども青少年課に移されました。

ひきこもり等の支援については、前年の市長の所信表明や平成24年度市政運営方針で子ども・若者育成計画の策定とネットワークの構築が表明されており、課が創設された早々に、青少年支援について経験のない職員達で取り組むこととなりました。

#### 2. 子ども若者・育成計画の策定とネットワーク会議の開設

平成22年制定の子ども・若者育成支援推進法では、市町村は子ども・若者計画を策定するように努めるものとされています。枚方市では、市政運営方針を受け、ひきこもり・ニート対策に特化した計画とすることとし、平成24年7月、枚方市青少年問題協議会に計画の策定について諮問をおこないました。青少年問題協議会では、ひきこもり支援の実践者を含む専門家からなる幹事会が4回開催され、平成25年1月に計画の素案が答申されました。それを踏まえ、市民説明会やパブリックコメントを経て、平成25年5月に「枚方市子ども・若者育成計画 ～ひきこもり等の子ども・若者の自立に向けて～」が策定、公表されました。



その間、子ども青少年課は、ひきこもり支援に先行的に取り組んでいる府内外の自治体やNPOを訪問して担当者から話をお聞きしました。府外では職員研修制度の先進都市派遣研修を利用して佐賀県を訪問し、和歌山県田辺市も訪問して多くのことを学びました。

また、平成24年6月からひきこもりを含む若者支援の公共・民間の関係機関に集ってもらい、「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」を開設し、平成24年度は8回、それ以降も年6回会議をおこなっています。顔の見える関係性を作り、適切なサービスを必要な人に途切れなく届けるというのが目的ですが、子ども青少年課としては、ひきこもりや就労支援の課題を理解するための大きな助けとなりました。

#### 3. ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの開設

平成25年4月からは、市としてひきこもりやニート、不登校等の御本人、御家族からの相談をお受けする「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を開設しました。



臨床心理士と社会福祉士を配置し、相談を受け持つことになりました。市として相談実績の蓄積がない中での出発でしたが、経験豊かなスーパーバイザーに定期的に

入ってもらい、専門的な力量を高めていくことができました。現在は臨床心理士が3人となり、4人体制で相談業務をおこなっています。

相談数は、平成25年度は688件、平成26年度は1116件あり、今年度も増えていく傾向です。初回相談は9割が御家族で、相談を続け、悩みも共有しながら御本人に対するアプローチをともに考えます。御本人が相談に来られるようになれば、御本人と御家族を別に面接を続け、御本人自らの変化・成長を大事にしています。家庭訪問(アウトリーチ)も行いますが、御本人の合意が取れた場合に限っています。ひきこもりの原因は様々で、精神科疾患や発達障害、知的障害のほか、原因がはっきりしないものもあり、学校や職場で傷ついた体験を多くの方が持っています。他の専門機関への紹介が必要な場合、ネットワーク会議での関係が役に立っています。最終の目標は就労・自立ですが、ネットワーク会議での地域若者サポートステーションやハローワーク等とのつながりに助けられています。



(面接室の様子)

#### 4. 居場所支援「ひらぼ」の開始

面接室での1対1の面接に慣れてきた若者の次の段階として、多くの支援団体では居場所での活動が持たれています。枚方でも平成26年度から枚方公園青少年センターで週1回の居場所支援「ひらぼ」を開始しました。枚方公園まで散歩感覚で来てほしいと名づけたもので、若者たちとコーディネーター(職員)、サポートフレンド(ボランティア)が創作や料理、ゲームなどの活動をおこなっています。集団での体験で人間関係に少し強く柔軟になり、次の就職等への活動に向かうステップです。サポートフレンドは市民公募で養成講座を実施し、修了者から登録していただきました。「ひらぼ」は現在、月6回程度に回数を増やしています。また、平成26年度からは月1回「家族の会」も実施しています。同じ悩みを持つ御家族同士で話し合うことにより、気持ちが楽になり、御自身を見直すきっかけにもなり、御家族が変わることによって御本人も大きく変わってきたりします。



(「ひらぼ」クリスマス会の様子)

#### 5. 今後の課題

枚方市では2000人を超える若者がひきこもり状態にあると推計されています。センターで対象者を認知しているというには程遠い状況です。市民に問題を認識してもらいセンターの存在を周知するために、平成25年度から「若者支援のための市民連続講座」をおこない、今年度も9月から毎月計5回の予定で始めます。先日、ネットワーク会議の際に参加者から「これまでは対象者の援助を自分たちでやりきらねばと考えていたが、ネットワーク会議に参加し、得意な分野のところ引き継げばいいと分かり、気持ちも楽になった」との発言がありました。枚方市におけるひきこもり支援は始まったばかりですが、今後も多くの機関や市民と連携し、質の高いシステムの構築を目指します。

枚方市 子ども青少年部 子ども青少年課 Tel: 072-841-1375 Fax: 072-843-2244 Mail: [kodosei@city.hirakata.osaka.jp](mailto:kodosei@city.hirakata.osaka.jp)  
ひきこもり子ども・若者相談支援センター Tel: 072-843-2255

このページの作成所屬  
[総務部 市町村課 振興・分権グループ](#)

[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[お問合せ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府 (法人番号 4000020270008) 本庁 〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目 (代表電話)06-6941-0351  
咲洲庁舎 〒559-8555 大阪府住之江区南港北1-14-16 (代表電話)06-6941-0351

[大阪府庁への行き方](#)

---

13 大阪府枚方市

---

(1) 地域における子供・若者の状況（非行、児童虐待、不登校、いじめ、ひきこもり、ニート、発達障害などの理由により社会生活を営む上で困難を有する子供・若者等の状況）

ア 市として直接的に調査は行っていないが、2,000名程度がひきこもりに該当していると考えている（平成22年内閣府公表「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」において推計された、15歳から39歳の人口に占めるひきこもりの割合である対象年齢人口×1.79で計算）。ただし、相談現場での感触ではあるが、実数はもっと多いのではないかと考えている。

イ ひきこもりになる方には、軽度の知的障害や発達障害などを抱えている場合もあり、それが原因で親もうつ状態になっているケース等もある。また、精神科疾患がありながら未受診のまま経過している方等、様々な背景があり、見立てと対応のために相談員の知識と技量の研鑽が不可欠である。

(2) 地域における子供・若者支援に関する取組の状況・課題

ア 子供・若者支援全般に関する取組状況

- 「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を軸に展開している。
- ▶ 直営で社会福祉士1、臨床心理士3名で運営している（兼職を含む）
  - ▶ 一昨年度は670件、昨年度は1,110件の相談を受けた。

イ 先進的な取組

地域若者サポートステーションも市内にあるため、併せて仕事をしておらず、学校にも行っていない若者の悩み相談や就職・職場定着に向けた就労支援を展開している。

また、居場所づくり等の現場で活動してもらうボランティアである「サポートフレンド」の養成を行っている。平成25年に養成講座を開催し、そのメンバーに参画してもらっている。

※登録者は20数名だが、常時活動しているのは8名程度。

ウ 取組を行う上での課題とその対応策

- (ア) 地域若者サポートステーションはあるが、その他に若者を支援する特定非営利活動法人が地域にあまりない。市でひきこもりの相談支援センターを作ったが、多様性がほしい。
- (イ) 医療機関や医師会との関係の持ち方。大阪府立の精神科病院のみネットワークに入ってもらっている。
- (ウ) 現行の計画とネットワークはひきこもり・ニート支援に特化しており、非行や貧困の問題をどうするかが課題となる。
- (エ) 青少年問題協議会とのすみわけ。

### (3) 地域協議会設置に向けた取組の状況・課題

#### ア 設置に向けた取組状況

(ア) 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を平成24年6月にスタート

- 当初は17機関だったが、現在は29機関が参加している。
- 開催は2か月に1回程度

(イ) この他、方向性を定める世話人会議を設置しており、年に6回開催

(ウ) ケースカンファレンスも昨年度1回開催しているところであり、知識や経験の共有を図っている。

#### イ 設置に向けての課題

ネットワーク会議の設置要綱では、実務者会議と代表者会議を開催することとなっているが、現在のところ実務者会議しか開けていない。代表者会議も開催し、趣旨を理解してもらう場が必要とも考える。

また、医師会や就労訓練・援助の場としての地域の事業所団体との関係が希薄で、アプローチの方法やこちらのアピールの方法も含め、考えていく必要がある。

### (4) 今年度掲げた目標

ア 地域とのつながりをこれまで以上に深めていく。

イ ひきこもり等地域支援ネットワーク会議の定例実施を継続。特にケースカンファレンスを充実する。

ウ 市民連続講座を過去2年に引き続いて実施する。若者を取り巻く情勢について話していただく講師を検討する。

エ 支援マップは、これまでA3判両面のものだったが、各機関・団体の情報を詳細に記載した冊子も作成する。

### (5) 今年度実施内容

#### ア 公開講座

回数	日程	テーマ	講師
1	9月12日	困難を有する若者の現状 ー見えない未来ー	中央大学文学部 教授 古賀 正義 氏
2	10月4日	日本社会の変容と若者の 現状	東京大学 東京大学大学院教育学研究科 教授 本田 由紀 氏
3	11月7日	ひきこもり支援の現場か ら	特定非営利活動法人青少年自立援助 センター 理事長 工藤 定次 氏

4	11月28日	医療機関から見たひきこもりと回復へのアプローチ—本人と家族が一步先に進むために—	三家クリニック臨床心理士・メンタルワークス大阪 代表 岡崎 剛 氏
5	1月9日	ひきこもっている子供の未来—お金の面から考える—	ファイナンシャルプランナー 浜田 裕也 氏

#### イ 連絡会議

回数	日程	テーマ	講師
1	8月20日	高校内における居場所支援について	・特定非営利活動法人 志塾フリースクール 山本 了輔 氏、酒井 俊紀 氏、 麻生 憲昭 氏 ・特定非営利活動法人み・らいず 松浦 宏樹 氏 ・大阪府青少年課 課長代理 小村 克宏 氏
2	10月15日	①ハローワーク枚方と現在の雇用状況について ②ホース・フレンズ事務局（枚方若者サポートステーション）より「中間的就労の場づくり支援事業」の総括	①ハローワーク枚方 安田 玲奈 氏 ②ホース・フレンズ事務局 酒井 信弘 氏
3	12月11日	京都府ひきこもり訪問支援「チーム絆」との意見交換	「チーム絆」メンバー 山陽学園大学 教授 目良 宣子 氏

#### (6) 今年度の取組の成果

ア ネットワーク会議は、4年間隔月で続けたおかげで、顔の見える関係は築けてきた。

イ 医療機関との関係作りがあまり進展していない。一方、障害者の就労支援機関との関係がつくれてきた。

ウ 市民連続講座は、ひきこもり支援の実践者の他、東大の本田先生やひきこもりの親子を専門としているファイナンシャルプランナー等呼び、受講者の関心事項や、知っておくべき事項について幅広く話を聞くことができるように留意した。また、今年度から参加者の増加を企図し、土日に実施した。この結果、これまでと比べ参加者が増えたと

感じている。

エ 居場所事業としてNPO フェスタに参加。当事者に参加してもらいラムネを売った。当事者にとって良い体験だったし、こちらも特定非営利活動法人との関係で今後新たな展開も出来そうで、良かった。

オ 非行防止の関係では、大阪府の少年非行防止活動ネットワークに参加し、府との連携がこれまで以上に深まった。今後もより広い連携が取れると思われる。

#### (7) 今後の課題・取組の方向性

ア 地域協議会は、来年度設置する方向で準備を進めている。

イ 既存のネットワーク会議との関係については整理が必要となる。

(ア) ネットワーク会議を部会にする等。

(イ) 地域協議会を代表者会議的なものとし、医師会や経済団体にも入ってもらい、実践者の会を下部に作る。

ウ 子供の貧困の問題に取り組む必要があり、市役所内でプロジェクトチームを立ち上げた。来年度へ向けて取組を強化していく。

エ 子供食堂をやりたいという思いを市民から多く聞く。官民の連携の仕方が課題である。

# [資料8]

## 枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱

平成 24 年 6 月 29 日制定  
枚 方 市 要 綱 第 64 号

### (設置)

第1条 修学及び就業のいずれもしていない子ども・若者その他の社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者（以下「ひきこもり等の子ども・若者」という。）に対する支援を効果的かつ円滑に実施するため、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議（以下「ネットワーク会議」という。）を置く。

### (所管事項)

第2条 ネットワーク会議の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) ひきこもり等の子ども・若者の発見からサポートに至るシステムについて検討すること。
- (2) ひきこもり等の子ども・若者の実態を把握すること。
- (3) ひきこもり等の子ども・若者の具体的支援の内容について意見交換を行うこと。
- (4) ひきこもり等の子ども・若者に係る啓発活動を行うこと。
- (5) ひきこもり等の子ども・若者に係る連絡調整を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、ネットワーク会議の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (構成)

第3条 ネットワーク会議は、次に掲げる機関等で構成する。

- (1) 枚方市地域振興部
  - (2) 枚方市健康部
  - (3) 枚方市福祉部
  - (4) 枚方市子ども青少年部
  - (5) 枚方市教育委員会事務局学校教育部
  - (6) 枚方公共職業安定所
  - (7) 大阪府枚方保健所
  - (8) 大阪府中央子ども家庭センター
  - (9) 枚方市民生委員児童委員協議会
  - (10) 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
  - (11) 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会
  - (12) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等
- 2 前項に掲げるもののほか、ひきこもり等の子ども・若者を支援する法人等のうち、市長が必要と認めるもの。

### (会議の種類)

第4条 ネットワーク会議における会議の種類は、代表者会議及び実務者会議とする。

2 代表者会議は、前条に掲げる機関を代表する者として市長が適当であると認めるもので構成し、所管事項のうち総括的事項を担当する。

3 実務者会議は、前条に掲げる機関の実務担当者のうち市長が適当であると認めるもので構成し、所管事項のうち具体的事項を担当する。

(会議の運営)

第5条 代表者会議及び実務者会議は、枚方市子ども青少年部子ども青少年課が招集する。

2 代表者会議及び実務者会議にそれぞれ座長を置く。

3 代表者会議の座長には、枚方市子ども青少年部子ども青少年課長の職にある者をもって充て、実務者会議の座長は、構成する者の互選によって定める。

4 座長は、会議の進行を担当する。

5 座長に事故があるときは、座長があらかじめ指名する者が代行する。

(運営会議)

第6条 代表者会議及び実務者会議の円滑な運営を図るため、代表者会議及び実務者会議に運営会議を置く。

2 運営会議は、第3条第1項第4号その他事務局が認める機関等で構成し、代表者会議及び実務者会議の運営に関し、必要な事項について協議を行うものとする。

(守秘義務)

第7条 代表者会議及び実務者会議を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議(所管事項の遂行に伴う活動を含む。)を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

(事務局)

第8条 ネットワーク会議の事務局は、枚方市子ども青少年部子ども青少年課が担当する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、ネットワーク会議の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、制定の日から施行する。





ひきこもり等子ども・若者相談支援センター  
枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議  
平成 27 年度の記録

平成 28 年 12 月発行

枚方市 子ども青少年部

子ども総合相談センター **となとな**

枚方市岡東町 12-3-410 サンプラザ 3 号館 4 階

TEL: 050-7102-3228 (直通)

072-843-2255

(ひきこもり等子ども・若者相談支援センター)

FAX: 072-846-7952

e-mail: kodomocenter@city.hirakata.osaka.jp